

教 育 部

教育政策課

課長 小林 伸一

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	教育政策課	課CD	13100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	教育文化センター事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち	市長公約	主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	教育文化センター費

＜事業の狙い＞

事業計画年度

～

教育文化センターでの各種事業の実施により生涯学習の推進に寄与するもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 1 プラネタリウム関係事業
天文機器を使用した天文講座やプラネタリウムのドーム・映像を利用した事業を実施
- 2 自然科学関係講座
科学工作教室の開催、サイエンスショーの実施
- 3 歴史・民俗関係講座
旧山辺学校改修工事
わら細工と昔の遊び道具作り教室、道祖神・文化財めぐり、探古会(古文書解読)
- 4 パソコン関係講座
ワード、エクセル、パワーポイント、ムービーメーカー講座の開催
- 5 視聴覚関係事業
親子映画会等の開催
- 6 教文学習専門委員会の開催
専門委員会を開催し、市内小学校5年生及び中学1年生を対象に実施している教文学習の事業内容等を検討するため、8つの部会で検討会等を実施。

＜現状に対する認識＞

「宇宙と科学」に特化した科学館として整備を進めるため、現在の事業及び新規事業の実施について検討していく。

＜指標の達成状況＞

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	プラネタリウム事業参加者数				
指標の設定理由	施設の事業において中心的な役割を担っているため				
目標値	15000.0	15000.0	15000.0	20000.0	20000.0
実績値	12445	12526	9979		
達成度	83.0%	83.5%	66.5%		
② 成果指標(指標名)	教育文化センター各種講座受講者数				
指標の設定理由	施設の利用状況を示す代表的指標であるため				
目標値	1500	1540	1580	1620	1660
実績値	1465	1350	1175		
達成度	97.7%	87.7%	74.4%		

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	56,675		74,974		81,242		78,840			
国・県	4,104		4,104		5,370					
利用者負担金	3,191		2,877		2,677		3,230			
その他										
一般財源	49,380		67,993		73,195		75,610			
② 人件費(千円)	47,224	人工	39,534	人工	37,198	人工		人工		人工
正規	29,991	3.9	22,301	2.9	20,763	2.7				
嘱託	14,193	4.98	14,193	4.98	13,395	4.7				
非常勤特別職	3,040	1	3,040	1	3,040	0.5				
合計コスト①+②	103,899		114,508		118,440		78,840			
前年度比	—		110.2%		103.4%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	教育政策課	課CD	13100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	社会教育事務
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実	
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	社会教育事務費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

「学都松本」がめざすまちの姿を①学び続けるまち ②共に学ぶまち ③次代に引き継ぐまちと定め、市民とともに様々な取組みで実現する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 まつもと市民生きいき活動
 思いやりの心で人に接するなど、いつの時代にあっても変わらない大切なこと(=不易)市民一人ひとりが自ら目標を定めて地道に取り組む活動。周知のためこども育成課のまつもと子どもスマイル運動と連携したポスターの作成・配布、広報まつもとで活動事例の紹介
 ・ポスター配布 全町会配布および関連施設窓口
 ・広報まつもと事例紹介数 6回

2 学都松本推進事業
 学都松本推進協議会を設置し、学びについて考える学都松本フォーラムの企画運営や、年間通じた推進事業の検討を、市民委員、教育部及び関係部局との連携のうえ実施するもの
 ・第7回学都松本フォーラム 9月22日～23日 参加者数:1,036人
 ・学都松本教育100年を語る会(通年講座)年6回 延参加者数:219人
 ・学都松本推進ポスターの作成

<現状に対する認識>

1 「まつもと市民生きいき活動」と「まつもと子どもスマイル運動」を連携して周知するだけでなく、実践を促し評価するために成果や事例の収集と効果的な発信が必要。
 2 「学都松本推進事業」は、年間を通じた実践として通年講座を開催することができたため、継続し定着化を目指す。会場変更に伴い大幅に参加者が減少した学都松本フォーラムは、周知方法や近隣施設との連携を見直し、より多くの方へ体験を提供する場としていくことが必要。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	「学都松本」について知っている市民の割合				
指標の設定理由	学都松本の理念が市民にどれだけ広まっているかを知る指標として				
目標値	70%	70%	70%	70%	70%
実績値	71.7%	71.7%	71.7%		
達成度	102.4%	102.4%	102.4%		
② 成果指標(指標名)	学都松本フォーラム参加者数				
指標の設定理由	学都を周知する機会として代表的な事業の成果指標				
目標値	2,750	2,800	2,850	2,900	2,950
実績値	2,568	2,041	1,036		
達成度	93.4%	72.9%	36.4%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,820		3,249		1,734		2,250			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,820		3,249		1,734					
② 人件費(千円)	4,614	人工	4,554	人工	4,530	人工		人工		人工
正規	4,614	0.6	4,554	0.6	4,530	0.6				
嘱託										
合計コスト①+②	7,434		7,803		6,264		2,250			
前年度比	—		105.0%		80.3%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	教育政策課	課CD	13100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	新科学館整備事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	新科学館整備事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実	
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略		

<事業の狙い>

事業計画年度

～

宇宙と科学に特化した新科学館を整備するために必要となる事業を進めるもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 先進科学館の視察
新科学館整備の参考とするための先進科学館の視察。多摩六都科学館、板橋区立教育科学館他
- 2 新科学館整備事業監修者との打合せ
新科学館のコンセプト等について計5回の打合せ
- 3 新科学館基本構想策定委員会の設置
外部有識者10名を委員とした基本構想策定委員会を2回開催

<現状に対する認識>

「宇宙と科学」に特化した科学館として整備を進めるに際し、現在実施している事業の継続と新規事業を検討していく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	事業進捗率				
指標の設定理由	事業の進み具合を示す代表的な成果指標として				
目標値	基本方針の決定	基本構想策定委員会の設置	基本設計の着手	基本設計完成	PFI導入調査完了
実績値	基本方針の決定	基本構想策定委員会の設置	基本設計の着手		
達成度	達成	達成	達成		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	0	548	6,108	59,750	
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源		548	6,108	59,750	
② 人件費(千円)	0	人工 10,730	人工 14,349	人工	人工
正規	0	0 7,690	1 8,459	1.1	
嘱託	0	0 0	0 2,850	1	
非常勤特別職		3,040	1 3,040	0.5	
合計コスト①+②	0	11,278	20,457	59,750	
前年度比	—	—	181.4%	—	

学校教育課

課長 逸見 和行

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	美ヶ原少年自然の家管理
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	美ヶ原少年自然の家管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

自然との関わりや集団生活を通じて、青少年の健全な心身発達を図る(キャンプ、交流会、研修会等)

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- (1) 小学校5学年キャンプでの宿泊利用
- (2) 一般団体への貸出
- (3) 施設の維持管理

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	利用者数(人)				
指標の設定理由	施設の利用状況を表せるため(過去の実績値から設定)				
目標値	3,360	3,360	3,360	3,360	3,360
実績値	2,648	2,584	2,636		
達成度	78.8%	76.9%	78.5%		
② 成果指標(指標名)	施設利用率(利用日数/開館日数)				
指標の設定理由	施設の利用状況を表せるため(開館日数190日)				
目標値	46.4	46.4	46.4	46.4	46.4
実績値	41.5	44.7	41.6		
達成度	89.4%	96.3%	89.7%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	3,156	3,343	4,138	5,260	
国・県					
利用者負担金	41	52	147	60	
その他					
一般財源	3,115	3,291	3,991	5,200	
② 人件費(千円)	3,619	3,649	3,705		
正規	769	759	755		
嘱託	2,850	2,890	2,950		
人工	0.1	0.1	0.1		
人工	1	1	1		
合計コスト①+②	6,775	6,992	7,843	5,260	
前年度比	—	103.2%	112.2%	—	

<現状に対する認識>

SNS等による情報で、県外からの利用者が増加している。逆に市内利用者が少ないため、ホームページ等で周知したい。

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	教職員住宅管理
-------	---------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	
主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備	
5つの重点目標	2 次世代を育むまちづくり	
松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	教職員住宅管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

教職員住宅の維持管理を適正に執行することで、教職員の住環境の充実を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 教職員住宅の維持・補修
- 2 空き家となった敷地の維持管理
- 3 H30実績 老朽化した教員住宅の解体 2棟(6戸)

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	入居戸数(戸)				
指標の設定理由	施設の利用状況を表せるため(H26実績値)				
目標値	90	84	84	84	84
実績値	69	65	60		
達成度	76.7%	77.4%	71.4%		
② 成果指標(指標名)	入居率(入居戸数/全戸数)				
指標の設定理由	施設の利用状況を表せるため(H26入居戸数を基に設定)				
目標値	36.7	50.9	50.9	50.9	50.9
実績値	31.5	39.4	37.7		
達成度	85.8%	77.4%	74.1%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	37,027		56,791		26,601		23,430			
国・県										
利用者負担金	16,386		18,951		14,679		14,370			
その他										
一般財源	20,641		56,702		11,922		9,060			
② 人件費(千円)	3,076	人工	3,036	人工	3,020	人工		人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,020	0.4				
嘱託	0	0	0	0	0	0				
合計コスト①+②	40,103		59,827		29,621		23,430			
前年度比	—		149.2%		49.5%		—			

<現状に対する認識>

安曇・奈川の需要のある住宅は改修をして住みやすい環境を提供する必要がある。入居の見込めない住宅については、解体後、積極的に売却を進める。

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	トライやるエコスクール事業 (小学校)
-------	------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	トライやるエコスクール事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

特色ある学校づくりの一環として、地域の歴史、文化、自然など特色ある素材の活用を図りながら、活力ある学校の創出を目指すと同時に、学校教育における環境教育の充実を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

各学校で農作物の栽培・飼育活動・地域文化の学習等に取り組み、豊かな人間性を培う活動を行った。また、地域指導者を活用することにより特色ある事業を展開し、地域と交流を深める活動も行った。さらに、環境教育としてリサイクル活動やみどりのカーテン設置等を行った。

【活動事例】

- ・地域招聘事業(地域の歴史・文化財等の学習・伝統文化体験学習・進路学習等)
- ・農業・栽培体験学習(スクールファーム、1人一鉢づくり等)
- ・福祉施設訪問等の地域福祉交流やボランティア活動等
- ・温暖化対策体験活動(緑のカーテン効果検証、校舎内緑化活動等)
- ・エコ活動(リサイクル活動、ゴミの分別活動、堆肥づくり等)
- ・小中学校環境教育支援事業協力団体との活動 ほか

<現状に対する認識>

より地域との連携を深め、各学校で特色ある活動や環境教育に取り組めるよう努める。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	実施校数				
指標の設定理由	特色ある活動の実施校数により事業の取組みが把握できるため				
目標値	28	28	28	28	28
実績値	28	28	28		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	8,002		7,901		8,258		8,890			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	8,002		7,901		8,258		8,890			
② 人件費(千円)	77	人工	75.9	人工	75.5	人工		人工		人工
正規	77	0.01	75.9	0.01	75.5	0.01				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	8,079		7,977		8,334		8,890			
前年度比	—		98.7%		104.5%		—			

事務事業評価票

事務事業名	要保護・準要保護児童就学援助事業(小学校)
-------	-----------------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	要保護・準要保護児童就学援助事業費

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます	
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備	
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり	
—	—	—		松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
就学が困難な児童が等しく教育を受けられるよう、必要な援助を行うもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
学校教育法第19条に基づき、経済的な理由によって就学が困難な児童が等しく教育を受けられるよう、保護者に対して教育費の一部を援助する。学用品費、学校給食費、修学旅行費、校外活動費等の援助を実施
認定者数(H30年度) ・1,461人(全児童数:12,498人、11.7%)

＜現状に対する認識＞
就学援助費を支給することにより、経済的理由によって就学が困難な児童についても、等しく教育を受ける機会を得ることができている。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	生活困窮家庭の児童を援助するので目標値設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)		125,389	134,129	127,170	117,440		
	国・県	166	56	58	80		
	利用者負担金						
	その他						
	一般財源	125,223	134,073	127,112	117,360		
② 人件費(千円)	3,076	人工	3,036	人工	3,020	人工	
	正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,020	0.4
	嘱託	0	0	0	0	0	0
合計コスト①+②		128,465	137,165	130,190	117,440		
前年度比		—	106.8%	94.9%	—		

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	特別支援教育就学奨励事業(小学校)
-------	-------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	特別支援教育就学奨励費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

特別支援学級に就学する、児童の保護者の経済的負担の軽減を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

発達障害、特別な支援を必要とする児童生徒のために設置された特別支援学級に就学する、児童の保護者の経済的負担を軽減するために必要な援助を行う。

学用品費、学校給食費、修学旅行費、校外活動費等の一部の援助を実施

【平成30年度認定者数】
・354人(うち支弁区分Ⅲ14人)

<現状に対する認識>

特別支援学級へ就学する児童生徒について、特殊児童にかんがみ、負担能力の程度に応じて援助をすることにより、等しく教育を受ける機会を得ることができている。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	目標値設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	8,471		9,206		11,600		13,920			
国・県	3,916		4,282		5,326		6,680			
利用者負担金	0		0		0		0			
その他	0		0		0		0			
一般財源	4,555		4,924		6,274		7,240			
② 人件費(千円)	385	人工	759	人工	1,510	人工		人工		人工
正規	385	0.05	759	0.1	1,510	0.2				
嘱託	0	0	0	0	0	0				
合計コスト①+②	8,856		9,965		13,110		13,920			
前年度比	—		112.5%		131.6%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	遠距離児童通学 (小学校)
-------	------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	遠距離児童通学費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

徒歩・自転車通学が困難な児童のために通学費を扶助するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

遠距離(原則4km以上)により徒歩・自転車通学が困難な児童のために、バス、タクシーの借上げや路線バス、電車の定期代、地域公共交通の利用を扶助する。

- ・バス借上げ
対象校:山辺小学校、本郷小学校、四賀小学校、梓川小学校、大野川小学校
- ・タクシー借上げ
対象校:波田小学校、島内小学校
- ・路線バス(定期券扶助)
対象校:安曇小学校、大野川小学校
- ・電車(定期券扶助)
対象校:波田小学校
- ・地域公共交通利用
対象校:四賀小学校、梓川小学校

<現状に対する認識>

通学に困難な児童のため、実情に応じて継続して事業を実施していく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	対象人数(人)				
指標の設定理由	利用状況を数値で把握することができるため。				
目標値	544	544	523	496	496
実績値	544	523	496		
達成度	100.0%	96.1%	94.8%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	58,455		59,357		59,905		65,490			
国・県	1,631		1,736		1,532					
利用者負担金	0									
その他	0									
一般財源	56,824		57,621		58,373		65,490			
② 人件費(千円)	769	人工	769	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	769	0.1	755	0.1				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	59,224		60,126		60,660		65,490			
前年度比	—		101.5%		100.9%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金
-------	-----

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	市長公約	主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

児童生徒に係る研究や調査等を行う団体に対し負担金を支払うことにより、学校教育の充実・向上を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

【負担金実績】

(1) 県小学校長会	523,600円
(2) 県中学校校長会	470,550円
(3) 県学校保健会	158,500円(小学校)、90,500円(中学校)
(4) 県図書館協会	103,600円(小学校)、59,200円(中学校)
(5) 県統計教育研究協議会	33,600円(小学校)、19,200円(中学校)
(6) 県公立小中学校事務研究会	84,000円(小学校)、48,000円(中学校)
(7) 中信小学校管楽器研究会	50,000円
(8) 県へき地地域振興協議会	4,300円
(9) 長野県視覚放送教育研究会	174,765円(小学校)、81,855円(中学校)
(10) 病弱虚弱教育連盟	1,000円(小学校)、1,000円(中学校)
(11) 鉢盛中学校	19,178,000円
(12) 県中学校体育連盟	1,168,200円
(13) 県吹奏楽連盟	102,000円
(14) 県中学校高等学校連絡会	28,500円
(15) 松本市幼年教育研究会	134,400円
(16) 教科用図書採択研究協議会	108,000円

<現状に対する認識>

今後も学校教育の充実・向上を図るため継続していく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	団体数				
指標の設定理由	学校教育の充実・向上のための負担実績として把握しやすいため。				
目標値	15	16	15	16	15
実績値	15	16	16		
達成度	100.0%	100.0%	106.7%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	18,298		18,091		22,622		20,203			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	18,298		18,091		22,622		20,203			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	19,067		18,850		23,377		20,203			
前年度比	—		98.9%		124.0%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校営繕(小学校)
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	学校営繕費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

学校施設の整備と保守を行い、児童の安全を守り、教育環境を充実させるもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

学校施設の整備及び保守。

<現状に対する認識>

児童のため、環境改善を図ることを目的とし、限られた予算のなかで効果的な事業実施がおこなわれている。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	施設の状況に応じて適宜実施するものであり目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	70,293		70,136		70,300		71,370			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	70,293		70,136		70,300		71,370			
② 人件費(千円)	385	人工	380	人工	378	人工		人工		人工
正規	385	0.05	380	0.05	378	0.05				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	70,678		70,516		70,678		71,370			
前年度比	—		99.8%		100.2%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	授業用校用備品充実整備(小学校)
-------	------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	授業用校用備品充実整備費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

教育内容、教育方法などの変化に伴い、子どもたちをとりまく学校環境の多様化が進んでおり、そのスピードや高機能化に対応するため、学校の授業用校用備品を計画的に整備していくもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 授業用消耗品購入
各校で必要な授業用の消耗品を学校配当予算にて購入。
- 2 学校用備品購入
各校で必要な教材用・校用器具用を学校配当予算にて購入。
ピアノ、印刷機、カーテンを導入計画により購入。
木製机椅子を5年間の購入計画によりスチール机椅子に更新。
- 3 図書購入
児童用・教師用図書の購入。
- 4 学校ICT機器の充実
児童の情報活用能力を育成、ICT機器活用によるわかりやすい授業の促進、教職員の事務負担軽減等を目的とし、環境整備を図る。
ICT機器については、各校パソコン教室用PC35台(児童使用用)、校務用PCとして教職員1人1台を配備している。
タブレット端末を各校6～18台整備。

<現状に対する認識>

学校配当予算により各学校の判断で必要な教材備品・校用備品を計画的に購入。
ピアノ、印刷機、カーテンについては計画的に更新。
ICT機器については概ね5年ごとに更新。
国が示すICT機器の整備水準に達していないため計画的に整備を行う必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	備品の不足や更新による整備であり目標設定は不適當				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	234,358		244,763		256,922		282,150			
国・県			168		5,336		5,130			
利用者負担金										
その他										
一般財源	234,358		244,595		251,586		277,020			
② 人件費(千円)	3,076	人工	3,036	人工	3,020	人工		人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,020	0.4				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	237,434		247,799		259,942		282,150			
前年度比	—		104.4%		104.9%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	特別支援学級運営 (小学校)
-------	-------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	特別支援学級運営費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

知的障害、情緒障害、難聴、病虚弱等児童に対応するため、各小学校に設置されている特別支援学級の運営体制の充実を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

特別支援学級用の教材購入等により、特別支援学級の運営体制の充実を図る

平成30年度学級数(平成30年5月1日現在) 26校 96学級

※安曇・大野川・奈川を除く

【事業費内訳】(H30実績)

- ・消耗品費 1,957千円
- ・備品購入費 1,519千円
- ・負担金 52千円

<現状に対する認識>

特別支援学級の運営を維持し、適切な教育指導を行うため、今後も継続していく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	特別支援学級運営費配当校数				
指標の設定理由	運営体制充実のための予算が各学校に配当されているか把握できるため。				
目標値	25	25	25	25	25
実績値	25	25	25		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,954		3,257		3,528		4,130			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,954		3,257		3,528		4,130			
② 人件費(千円)	77	人工	76	人工	76	人工		人工		人工
正規	77	0.01	76	0.01	76	0.01				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	3,031		3,333		3,604		4,130			
前年度比	—		110.0%		108.1%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校施設整備事業 (小学校費+中学校費)
-------	-------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	
主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	学校施設整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

児童が安全、安心な学校生活を送るために、学校施設の整備と保守を行い、教育環境を充実させる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 中学校柔剣道場ガラリ窓改修
柔剣道場の上部窓の一部がガラリとなっていたものを開閉式窓に更新
(冬季使用時に暖房等で暖めた空気が逃げてしまっていた状況を改善)
対象校： 鎌田中、丸ノ内中、旭町中、松島中、高綱中
筑摩野中、山辺中、明善中、信明中 (計9校)
- 高綱中学校燃料地下貯蔵タンク内面コーティング
老朽化した燃料地下貯蔵タンクから腐食等による灯油流出未然防止措置

<現状に対する認識>

施設の状況及び重要度により、順位付けを行い、順次対応している。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	施設の状況に応じて適宜実施するものであり、目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	72,742		58,865		37,875		5,260			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	72,742		58,865		37,875		5,260			
② 人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,510	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	74,280		60,383		39,385		5,260			
前年度比	—		81.3%		65.2%		—			

事務事業評価票

事務事業名	地震防災緊急事業(小学校)
-------	---------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	地震防災緊急事業費

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標		5 将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略		⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H28～H32
安全安心な教育環境を整備するため、教室等の非構造部材の耐震化、避難施設としての防災設備の整備などを行うもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 体育館アリーナ吊り天井耐震化(H28完了) →建築基準法の新基準(H26.4施行)に不適合な施設の改修
2 非構造部材の耐震化 →体育館の非構造部材の調査・診断・設計及び改修工事 (体育館:H28完了) →教室等の非構造部材の調査・診断・設計及び改修工事 (調査・診断・設計はH30までに完了、工事は交付金内示が遅れたためH31予定)
3 防災機能強化 →避難施設としての防災設備の整備
4 中間教室施設の耐震化 →中間教室あずさの家の解体(H29完了)

＜現状に対する認識＞
尊い子どもたちの生命を守るため、安全安心な教育環境の整備として学校施設の耐震化を進める。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	教室等の非構造部材耐震化(施工済校数)				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	—	—	12	25	
実績値	—	—	0		
達成度			0.0%		
② 成果指標(指標名)	教室等の非構造部材耐震化(調査設計済校数)				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	12	24	25	—	—
実績値	12	24	25	—	—
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		

＜コスト一覧＞										
区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	52,209		12,484		540		48,950			
国・県	15,971		0		0		35,430			
利用者負担金										
その他										
一般財源	36,238		12,484		540		13,520			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	52,978		13,243		1,295		48,950			
前年度比	—		25.0%		9.8%		3779.9%			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	暖房機更新事業
-------	---------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	暖房機更新事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	14	～	36
--------	----	---	----

児童生徒の学校生活に直接かかわる暖房機を計画的に更新し改善していくことで、故障を回避し安全性を確保する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

小中学校FF式暖房機の更新
更新計画に基づき小学校と中学校のFF式暖房機を更新
第2期(平成21年度～)更新分2,576台の55.16%が完了(平成30年度)

<現状に対する認識>

計画通りに更新ができている。

<指標の達成状況>

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	暖房機の更新率(%)				
指標の設定理由	事業の成果を端的に評価できるため				
目標値	45.42	50.33	55.16	62.58	68.94
実績値	45.42	50.33	55.16		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	20,455		20,963		24,074		21,440			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	20,455		20,963		24,074		21,440			
② 人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,510	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	21,993		22,481		25,584		21,440			
前年度比	—		102.2%		113.8%		83.8%			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	プール整備事業 (小学校費＋中学校費)
-------	------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	プール整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H1 ~

学校プール施設の老朽化、機能低下に対応するため、改築工事又は改修工事を行い、教育環境の改善及び建物耐久性の確保を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 清水中学校
プール改築工事 (水張面積375㎡、附属棟(便所・更衣室等)約101㎡)
⇒交付金未採択のため事業を次年度に見送り
- 並柳小学校
プール循環濾過設備更新、及びそれに伴う給排水設備・電気設備の改修
- 信明中学校
プール循環濾過設備更新、及びそれに伴う給排水設備・電気設備の改修

<現状に対する認識>

プール整備事業計画に沿って、順次整備していく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	プール改築完了数				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	1	1	1	1	1
実績値	1	1	0		
達成度	100.0%	100.0%	0.0%		
② 成果指標(指標名)	プール改修完了数				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	2	2	2	0	1
実績値	2	2	2		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	222,260		195,588		24,386		182,450			
国・県	21,882		20,516				21,820			
利用者負担金										
その他							126,300			
一般財源	200,378		175,072		24,386		34,330			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	223,029		196,347		25,141		182,450			
前年度比	—		88.0%		12.8%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	トライやるエコスクール事業 (中学校)
-------	------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	トライやるエコスクール事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

特色ある学校づくりの一環として、地域の歴史、文化、自然など特色ある素材の活用を図りながら、活力ある学校の創出を目指すと同時に、学校教育における環境教育の充実を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

各学校で農作物の栽培・飼育活動・地域文化の学習等に取り組み、豊かな人間性を培う活動を行った。また、地域指導者を活用することにより特色ある事業を展開し、地域と交流を深める活動も行った。さらに、環境教育としてリサイクル活動やみどりのカーテン設置等を行った。

【活動事例】

- ・地域招聘事業(地域の歴史・文化財等の学習・伝統文化体験学習・進路学習等)
- ・農業・栽培体験学習(スクールファーム、1人一鉢づくり等)
- ・福祉施設訪問等の地域福祉交流やボランティア活動等
- ・温暖化対策体験活動(緑のカーテン効果検証、校舎内緑化活動等)
- ・エコ活動(リサイクル活動、ゴミの分別活動、堆肥づくり等)
- ・小中学校環境教育支援事業協力団体との活動 ほか

<現状に対する認識>

より地域との連携を深め、各学校で特色ある活動や環境教育に取り組めるよう努める。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	実施校数				
指標の設定理由	特色ある活動の実施校数により事業の取組みが把握できるため				
目標値	20	20	20	20	20
実績値	20	20	20		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	8,686		8,358		8,533		10,070			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	8,686		8,358		8,533		10,070			
② 人件費(千円)	77	人工	76	人工	76	人工		人工		人工
正規	77	0.01	76	0.01	76	0.01				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	8,763		8,434		8,609		10,070			
前年度比	—		96.2%		102.1%		—			

事務事業評価票

事務事業名	学校行事運営(姫路市・松本市中学生交歓キャンプ)
-------	--------------------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	学校行事運営費

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます	
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	5つの重点目標	主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備	
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	松本版総合戦略	2	次世代を育むまちづくり	
—	—	—	—	5	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
姉妹都市である姫路市と松本市の中学生が合宿生活を営むことによって、相互の親睦を図り、友情を深めながら交流の輪を広げ、もって姉妹都市交流の実をあげる。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 参加者 松本市及び姫路市の中学生35名ずつ、計70名及び教職員
2 日程 夏休み期間中3泊4日
3 実施内容 松本市での開催時は、上高地の散策や松本城等市内を散策。姫路市での開催時は、姫路城の見学、海洋体験等を実施。
4 その他 松本市と姫路市で毎年相互に開催。昭和55年から実施している。

＜現状に対する認識＞
30年以上続く伝統的な行事として、今後も継続して実施していく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	開催回数				
指標の設定理由	実施状況を数値として把握できるため。				
目標値	1	1	1	1	1
実績値	1	1	1		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	600	3,050	600	3,200		
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	600	3,050	600	3,200		
② 人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,510	人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2
嘱託	0		0		0	
合計コスト①+②	2,138	4,568	2,110	3,200		
前年度比	—	213.7%	46.2%	—		

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	要保護・準要保護生徒就学援助事業(中学校)
-------	-----------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	#N/A
主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備	
5つの重点目標	2 次世代を育むまちづくり	
松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	要保護・準要保護生徒就学援助事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

就学が困難な生徒が等しく教育を受けられるよう、必要な援助を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

学校教育法第19条に基づき、経済的な理由によって就学が困難な生徒が等しく教育を受けられるよう、保護者に対して教育費の一部を援助する。学用品費、学校給食費、修学旅行費、校外活動費等の援助を実施

認定者数(H30年度)
・984人(全生徒数: 5,858人、16.8%)

<現状に対する認識>

就学援助費を支給することにより、経済的理由によって就学が困難な生徒についても、等しく教育を受ける機会を得ることができている。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	生活困窮家庭の生徒を援助するので目標値設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	126,613		111,180		107,139		97,670			
国・県	167		152		163		230			
利用者負担金										
その他										
一般財源	126,446		111,028		106,976		97,440			
② 人件費(千円)	3,845	人工	3,795	人工	3,775	人工	0	人工		人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	3,775	0.5	0			
嘱託	0	0	0	0	0	0	0			
合計コスト①+②	130,458		114,975		110,914		97,670			
前年度比	—		88.1%		96.5%		—			

事務事業評価票

事務事業名	特別支援教育就学奨励事業(中学校)
-------	-------------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	特別支援教育就学奨励事業

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます	
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備		
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	2 次世代を育むまちづくり		
—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
特別支援学級に就学する、生徒の保護者の経済的負担の軽減を図る。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
発達障害、特別な支援を必要とする児童生徒のために設置された特別支援学級に就学する、生徒の保護者の経済的負担を軽減するために必要な援助を行う。
学用品費、学校給食費、修学旅行費、校外活動費等の一部の援助を実施
【平成30年度認定者数】 ・106人(うち支弁区分Ⅲ2人)

＜現状に対する認識＞
特別支援学級へ就学する児童生徒について、特殊児童にかんがみ、負担能力の程度に応じて援助をすることにより、等しく教育を受ける機会を得ることができている。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	目標値設定は不適當				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)		3,558	4,558	5,910	7,050		
	国・県	1,675	2,114	2,626	3,380		
	利用者負担金	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,883	2,444	3,284	3,670		
② 人件費(千円)	385	人工	759	人工	1,510	人工	
	正規	385	0.05	759	0.1	1,510	0.2
	嘱託	0	0	0	0	0	0
合計コスト①+②		3,943	5,317	7,420	7,050		
前年度比		—	134.9%	139.6%	—		

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	遠距離生徒通学 (中学校)
-------	------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	遠距離生徒通学費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

徒歩・自転車通学が困難な生徒のために通学費を扶助するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

遠距離(原則6km以上)により徒歩・自転車通学が困難な生徒のために、バス、タクシーの借上げや路線バスの定期代、地域公共交通利用を扶助する。

・バス借上げ

対象校:山辺中学校、会田中学校、梓川中学校、大野川中学校

・タクシー借上げ

対象校:開成中学校、女鳥羽中学校

・路線バス(定期券扶助)

対象校:安曇中学校、大野川中学校

・地域公共交通利用

対象校:会田中学校、梓川中学校

<現状に対する認識>

通学に困難な生徒のため、実情に応じて継続して事業を実施していく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	対象人数(人)				
指標の設定理由	利用状況を数値で把握することができるため。				
目標値	129	129	101	101	101
実績値	129	101	95		
達成度	100.0%	78.3%	94.1%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	13,572		13,903		12,626		15,830			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	13,572		13,903		12,626		15,830			
② 人件費(千円)	769	人工	769	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	769	0.1	755	0.1				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	14,341		14,672		13,381		15,830			
前年度比	—		102.3%		91.2%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校営繕(中学校)
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	学校営繕費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

学校施設の整備と保守を行い、生徒の安全を守り、教育環境を充実させるもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

学校施設の整備及び保守。

<現状に対する認識>

児童のため、環境改善を図ることを目的とし、限られた予算のなかで効果的な事業実施がおこなわれている。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	施設の状況に応じて適宜実施するものであり目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	52,912		52,124		52,500		53,620			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	52,912		52,124		52,500		53,620			
② 人件費(千円)	385	人工	380	人工	378	人工		人工		人工
正規	385	0.05	380	0.05	378	0.05				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	53,297		52,504		52,878		53,620			
前年度比	—		98.5%		100.7%		—			

事務事業評価票

事務事業名	授業用校用備品充実整備(中学校)
-------	------------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	授業用校用備品充実整備費

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
教育内容、教育方法などの変化に伴い、子どもたちをとりまく学校環境の多様化が進んでおり、そのスピードや高機能化に対応するため、学校の授業用校用備品を計画的に整備していくもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 授業用消耗品購入 各校で必要な授業用の消耗品を学校配当予算にて購入。
2 学校用備品購入 各校で必要な教材用・校用器具用を学校配当予算にて購入。 ピアノ、印刷機、カーテンを導入計画により購入。 木製机椅子を5年間の購入計画によりスチール机椅子に更新。
3 図書購入 児童用・教師用図書の購入。
4 学校ICT機器の充実 児童の情報活用能力を育成、ICT機器活用によるわかりやすい授業の促進、教職員の事務負担軽減等を目的とし、環境整備を図る。 ICT機器については、各校パソコン教室用PC35台(生徒使用用)、校務用PCとして教職員1人1台を配備している。 タブレット端末を各校6台整備。

＜現状に対する認識＞
学校配当予算により各学校の判断で必要な教材備品・校用備品を計画的に購入。 ピアノ、印刷機、カーテンについては計画的に更新。 ICT機器については概ね5年ごとに更新。 国が示すICT機器の整備水準に達していないため計画的に整備を行う必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	備品の不足や更新により整備するものであり目標設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞									
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
① 事業費(千円)	168,342	169,985	189,716	217,180					
国・県		1,133	4,758	4,320					
利用者負担金									
その他									
一般財源	168,342	168,852	184,958	212,860					
② 人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工		人工	
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3			
嘱託	0		0		0				
合計コスト①+②	170,649		172,262		191,981		217,180		
前年度比	—		100.9%		111.4%		—		

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	特別支援学級運営 (中学校)
-------	-------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標		2 次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略		⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	特別支援学級運営費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

知的障害、情緒障害、難聴、病虚弱等児童に対応するため、各中学校に設置されている特別支援学級の運営体制の充実を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

特別支援学級用の教材購入等により、特別支援学級の運営体制の充実を図る

平成30年度学級数(平成29年5月1日現在) 16校 45学級
※安曇・大野川・奈川を除く

【事業費内訳】(H30実績)
・消耗品費 886千円
・備品購入費 898千円
・負担金 33千円

<現状に対する認識>

特別支援学級の運営を維持し、適切な教育指導を行うため、今後も継続していく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	特別支援学級運営費配当校数				
指標の設定理由	運営体制充実のための予算が各学校に配当されているか把握できるため。				
目標値	16	16	16	16	16
実績値	16	16	16		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,574		1,721		1,817		2,050		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,574		1,721		1,817		2,050			
② 人件費(千円)	77	人工	76	人工	76	人工		人工		人工
正規	77	0.01	76	0.01	76	0.01				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	1,651		1,797		1,893		2,050			
前年度比	—		108.8%		105.3%		—			

事務事業評価票

事務事業名	地震防災緊急事業(中学校)
-------	---------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	地震防災緊急事業費

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H28～H31
安全安心な教育環境を整備するため、教室等の非構造部材の耐震化、避難施設としての防災設備の整備などを行うもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 体育館アリーナ吊り天井耐震化(H28完了) →建築基準法の新基準(H26.4施行)に不適合な施設の改修
2 非構造部材の耐震化 →体育館の非構造部材の調査・診断・設計及び改修工事 (体育館:H28完了) →教室等の非構造部材の調査・診断・設計及び改修工事 (調査・診断・設計はH30までに完了、工事は交付金内示が遅れたためH31予定)
3 防災機能強化 →避難施設としての防災設備の整備
4 中間教室施設の耐震化 →中間教室あずさの家の解体(H29完了)

＜現状に対する認識＞
尊い子どもたちの生命を守るため、安全安心な教育環境の整備として学校施設の耐震化を進める。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	教室等の非構造部材耐震化(施工済校数)				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	—	—	7	15	—
実績値	—	—	0	—	—
達成度	—	—	0.0%	—	—
② 成果指標(指標名)	教室等の非構造部材耐震化(調査設計実施校数)				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	7	14	15	—	—
実績値	7	14	15	—	—
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	—	—

＜コスト一覧＞										
区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	4,114		4,320		603		81,170		—	
国・県	0		0		0		67,680		—	
利用者負担金	—		—		—		—		—	
その他	—		—		—		—		—	
一般財源	4,114		4,320		603		13,490		—	
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	—	人工	—	人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	—	—	—	—
嘱託	0	—	0	—	0	—	—	—	—	—
合計コスト①+②	4,883		5,079		1,358		81,170		—	
前年度比	—		104.0%		26.7%		—		—	

事務事業評価票

事務事業名	学校施設長寿命化改良事業
-------	--------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	学校施設長寿命化改良事業費

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標		5 将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略		⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H28 ～
国のインフラ長寿命化計画の策定を受け、学校施設についても大規模改造～延命へ転換し、築40年以上経過した施設を今後30年以上使用するため、構造体の耐久化とインフラ設備の更新を行うもの。また、建物の延命化により、建物更新時に係る費用の平準化を行うもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 劣化度調査 建物の劣化の状態を調査し、事業実施の判断を行う。また、工事の概算工事費の算出をおこなう。
2 実施設計 劣化度調査をもとに、長寿命化改良工事の実施設計をおこなう。
3 工事 長寿命化改良工事の実施(工期 2年～3年)
4 H29実績 劣化度調査を中学校1校で実施
5 H30実績 長寿命化改良計画(個別施設計画)策定のため、劣化度調査を行っていない39校について劣化状況調査を実施し、長寿命化改良計画(案)を作成した。

＜現状に対する認識＞
施設の劣化の状況を判断し、長寿命化改良計画を策定し、その計画に沿って進める。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事業の整備率(完了棟数/予定棟数)				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0		
達成度	-	-	0.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	35,802	8,532	31,125	0		
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	35,802	8,532	31,125			
② 人件費(千円)	769	759	2,265			
正規	769	0.1	759	0.1	2,265	0.3
嘱託	0	0	0			
合計コスト①+②	36,571	9,291	33,390	0		
前年度比	-	25.4%	359.4%	-		

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金事業
-------	-------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金事業

<事業の狙い>

事業計画年度

～

保護者の負担を軽減し、私立学校等の振興をはかるもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

【補助実績】

1 私立高等学校運営費補助金 13,184,100円
 (1)松商学園高等学校(3,468,400円)、(5)信濃むつみ高等学校(1,468,600円)
 (2)松本第一高等学校(2,204,500円)、(6)松本秀峰中等教育学校(1,432,300円)
 (3)松本国際高等学校(1,815,100円)、(7)東京都市大学塩尻高等学校(1,214,400円)
 (4)エクセラン高等学校(1,514,800円)、(8)海大学付属第三高等学校(66,000円)
 ※ 定額補助(市内に設置された高校).....1校あたり年額1,000千円
 生徒数割り補助(本市に住所を有する生徒が在籍する高校)
生徒1人あたり年額3,300円

2 朝鮮学園運営費補助金 1,963,700円
 初中級学校分 定額補助1,000千円+生徒数割り補助128,700円(@3,300円×39人)
 付属幼稚園分 定額補助 700千円+ 園児割り補助135,000円(@27,000円×5人)

3 海外留学生奨学金 0円
 @80,000円×0名分 =0円

※H29まで学校教育課で行っていた安曇・奈川地区の高校生通学費補助金は、H30から地域づくり課へ移管。

<現状に対する認識>

保護者負担の軽減を図るため、今後も継続して実施予定。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	補助事業数				
指標の設定理由	補助実施状況を把握できるため。				
目標値	5	4	4	4	4
実績値	5	4	4		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	58,387		15,706		15,147		15,308			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	58,387		15,706		15,147		15,308			
② 人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1510	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1510	0.2				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	59,925		17,224		16,657		15,308			
前年度比	—		28.7%		96.7%		—			

事務事業評価票

事務事業名	児童生徒保健管理
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	児童生徒保健管理費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
児童生徒及び教職員の健康管理をするため	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 児童生徒及び教職員の健康管理・健康教育
児童生徒及び教職員健康診断の実施等
- 近年増加している子どもの生活習慣病の予防対策
小学4年生、中学2年生の血液検査の実施
- 健康管理上必要な検査の実施や消耗品、検査機器購入等
学校環境衛生検査(ホルムアルデヒド等)、保健室用消耗品、備品の購入

<現状に対する認識>

児童生徒の健康管理のため、法改正等に則りながら継続して事業を実施していく。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標		2 次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略		⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<指標の達成状況>

		総合評価		A	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	健康診断を実施した児童生徒数				
指標の設定理由	健康管理できている児童生徒数を数値化して客観的に把握できるため。				
目標値	18,859	18,541	18,355	18,190	18,038
実績値	18,720	18,415	18,248		
達成度	99.3%	99.3%	99.4%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	58,767		51,857		51,354		55,979			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	58,767		51,857		51,354		55,979			
② 人件費(千円)	6,152	人工	6,072	人工	6,040	人工		人工		人工
正規	6,152	0.8	6,072	0.8	6,040	0.8				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	64,919		57,929		57,394		55,979			
前年度比	—		89.2%		99.1%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	災害共済給付事務
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	災害共済給付事務

<事業の狙い>

事業計画年度

～

スポーツの振興及び児童、生徒の健康の保持促進を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

小学校、中学校の管理下における児童生徒等の災害に関する必要な給付に係る事務

【平成30年度】

児童生徒災害共済掛金(歳出)・・・17,161,645円

児童生徒災害共済掛金負担金(歳入)・・・4,804,200円

<現状に対する認識>

継続して実施していく。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	学校事務を支援する内部事務であり目標値設定不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	17,635		17,335		17,161		17,100			
国・県										
利用者負担金	4,858		4,855		4,804		4,760			
その他										
一般財源	12,777		12,480		12,357		12,340			
② 人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3				
嘱託	0	0	0	0	0	0				
合計コスト①+②	19,942		19,612		19,426		17,100			
前年度比	—		98.3%		99.1%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	松本市各種競技会、発表会等出場者祝金(小学校)
-------	-------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備	
5つの重点目標	2 次世代を育むまちづくり	
松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	各種発表会等出場者祝金

<事業の狙い>

事業計画年度

~

祝金を交付し芸術文化活動の振興を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

松本市に住所を有する小学生が芸術文化活動において、県大会より上位の大会に出場した場合、祝金を交付し芸術文化活動の振興を図るもの。

【H30年度実績】

個人 41件 325,000円
 団体 6件 1,657,000円

<現状に対する認識>

芸術文化の振興に寄与しており、今後も継続して実施していく。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	目標値設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,000		3,325		1,982		3,000			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,000		3,325		1,982		3,000			
② 人件費(千円)	759	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	759	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託	0	0	0	0	0	0				
合計コスト①+②	2,759		4,084		2,737		3,000			
前年度比	—		148.0%		67.0%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	松本市各種競技会、発表会等出場者祝金(中学校)
-------	-------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み	○	確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	各種発表会等出場者祝金

<事業の狙い>

事業計画年度

~

祝金を交付し芸術文化活動の振興を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

松本市に住所を有する中学生が芸術文化活動において、県大会より上位の大会に出場した場合、祝金を交付し芸術文化活動の振興を図るもの

【H30年度実績】

個人 14件 90,000円
 団体 17件 3,274,910円

<現状に対する認識>

芸術文化の振興に寄与しており、今後も継続して実施していく。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	目標値設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,939		3,390		3,364		3,000			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,939		3,390		3,364		3,000			
② 人件費(千円)	759	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	759	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託	0	0	0	0	0	0				
合計コスト①+②	3,698		4,149		4,119		3,000			
前年度比	—		112.2%		99.3%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	空調設備整備事業 (小学校費+中学校費)
-------	-------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	空調設備整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H30 ~

夏の猛暑による熱中症対策として学校施設にエアコンを設置し、児童生徒の学習空間及び教職員の執務環境の改善を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

12月補正及び2月補正にて工事請負費及び設計委託料を予算計上(繰越) H31実施(一部先行発注済)

- 対象校
冷涼地に存する大野川小中学校、奈川小中学校を除いた全小中学校
- 対象室
(1) 小学校
普通教室(1学年・2学年・特別支援)、特別教室(音楽室・図書室・PC室)
管理諸室(職員室・事務室)
(2) 中学校
特別教室(音楽室・図書室)、管理諸室(職員室・事務室)
- その他
・保健室(全小中学校)とPC室(一部の小学校と全中学校)は整備済
・残る部屋については今後実施計画にて検討

<現状に対する認識>

残る部屋への設置については、まずは今設置を進めている部屋について平成31年度末までに確実に設置することを優先し、今後も引き続き、国庫補助金について国へ要望するなど財源の確保に努めながら、気温や他市の状況等を総合的に判断し、具体的な設置範囲や実施時期等について検討する。

<指標の達成状況>

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	整備完了学校数				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値			0	42	
実績値			0		
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		0		0		1,423,000			
国・県							252,792			
利用者負担金										
その他							492,200			
一般財源							678,008			
② 人件費(千円)	0	人工	0	人工	1,510	人工		人工		人工
正規	0		0		1,510	0.2				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	0		0		1,510		1,423,000			
前年度比	—		#DIV/0!		#DIV/0!		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	就学事務
-------	------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

学校教育法等に基づき、児童生徒の学齢簿の作成や、住民異動に伴う学籍・就学の管理を行うことにより、就学状況を把握するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

児童生徒の転入学、学籍等に関わる事務。

- ・学齢簿の整備
- ・通学区弾力化制度
- ・学校の指定
- ・指定校変更
- ・区域外就学
- ・外国籍児童生徒の就学

<現状に対する認識>

市内児童生徒の学齢簿等について、システムにより管理・処理することにより、正確かつ迅速な就学事務を行うことができている。
通学区弾力化制度については、利用状況の検証を行う。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	成果を求めるものではないため目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		0		0		0			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源										
② 人件費(千円)	3,076	人工	3,076	人工	3,076	人工		人工		人工
正規	3,076	0.4	3,076	0.4	3,076	0.4				
嘱託	0		0		0					
			0							
合計コスト①+②	3,076		3,076		3,076		0			
前年度比	—		100.0%		100.0%		—			

学校指導課

課長 高野 毅

事務事業評価票

事務事業名	人権教育推進事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	人権教育推進費

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	平和、人権を尊重するまち	主な取組み		○子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
基本施策(個別目標)	212	人権尊重の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

児童生徒が人権感覚を培い、差別のない社会を築くこと。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 人権尊重の精神を涵養し、様々な人権問題を自らの課題として解決しようする意欲 と実践力をもった人間を育てることを目指し、教職員を対象に推進委員会及び研修会等を実施する。

(1) 学校人権教育研究協議会等

ア 人権教育推進委員会全体会 2回

イ 学校人権教育研究協議会(県中信教育事務所研修を市の研修として位置づけ)

参加実績(松本市参加者数/中信地区参加者数)

H28 30人/158人、H29 51人/160人、H30 30/112人

(2) 学校人権教育担当指導主事研修

ア 人権リーダー養成・部落問題講座(長野市:3日間)に参加

イ 人権教育指導方法研究会(長野市・松本市:年3回)に参加

(3) 全国人権同和教育研究大会

第70回全国人権・同和教育研究大会(滋賀県大津市)参加

(4) 学校人権教育実践記録発行

ア 教師自身の豊かな人権感覚実践記録集

イ 学校人権教育実践記録

(5) その他

ア 交流体験教室(ポッチャと異文化交流)の開催

イ 平和を祈る詩の朗読会への協力

<現状に対する認識>

人権尊重の精神を涵養し、様々な人権問題を自らの課題として解決しようする意欲と実践力をもった人間を育てるため、人権課題に即した教職員の研修や各学校への周知に努めたい。

<指標の達成状況>

総合評価	B				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
① 事業費(千円)	307	154	189	260			
国・県	50						
利用者負担金							
その他							
一般財源	257	154	189	260			
② 人件費(千円)	100	人工	100	人工	1,510	人工	人工
正規	100	0.013	100	0.013	1,510	0.2	
嘱託	0	0	0	0	0	0	
合計コスト①+②	407	254	1,699	260			
前年度比	—	62.4%	669.0%	—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	特別支援教育推進事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	特別支援教育推進費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<事業の狙い>

事業計画年度

～

特別な支援を必要とする児童生徒に適切な学習環境を整える。周囲の児童生徒への影響を最小限に抑え、安定した学級・学校経営へつなげる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

小中学校の特別支援教育を推進する。

(1) 松本市心身障害児就学支援委員会の運営
30年度 7回開催
(6月14日、9月6日、10月4日、11月8日、12月13日、1月17日、2月14日)
・ 医療機関の診断書や知能検査(WISC-IV)結果を支援委員会での判断資料とした。
・ 就学支援委員会への判断依頼件数
29年度321件、30年度353件

(2) 特別支援教育支援員の研修
30年度 2回開催(6月19日、11月20日) 自立支援教員、中間教室適応指導員と合同で実施

(3) 「ふれあい教育展」(特別支援教育展)の開催
ア 特別支援学校、特別支援学級に在籍する児童生徒の学習発表及び交流
地域との触れあいを通じて、特別支援教育への理解が深まることを期待して「ふれあい教育展」の運営を業務委託
(委託先:松本市校長会特別支援教育担任者会、委託料:300千円)
イ 和太鼓演奏の講師謝礼 120千円
指導回数9回(事務当番校:島内小学校)
ウ 「ふれあい教育展」開催内容
期日:10月12日、10月13日 会場:あがたの森公園
内容:学習活動で制作した作品の展示や販売活動、和太鼓演奏の発表等

<現状に対する認識>

障害者差別解消法の施行に伴い、合理的配慮や基礎的環境整備等、インクルーシブ教育システムの構築の必要性が一層高まると考えられる。特別支援教育の充実に向け、関係職員の支援力向上や市民の特別支援教育に対する関心の向上に努めたい。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
① 事業費(千円)	38,066	626	773	1,370					
国・県									
利用者負担金									
その他									
一般財源	38,066	626	773	1,370					
② 人件費(千円)	308	人工	304	人工	5,120	人工		人工	
正規	308	0.04	304	0.04	4,530	0.6			
嘱託	0	0	0	0	590	0.2			
合計コスト①+②	38,374	930	5,893	1,370					
前年度比	—	2.4%	633.9%	—					

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	英語指導助手配置事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	英語指導助手配置事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

外国人講師と会話をすることで、言語や文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を身につける。また、交流をはかることで異文化を知り、児童生徒の国際感覚の素地をつくること。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

小中学校に外国人の指導助手を配置する。
 (1) 小学校
 ア 中学年
 外国音声に慣れ親しませながら、言語や文化について体験的に理解を深め、コミュニケーション能力の素地を養う。
 イ 高学年
 身近なことについて基本的な表現によって「聞く」「話す」「読む」「書く」の態度を含めたコミュニケーション能力の基礎を養う。
 (2) 中学校
 文法訳読に偏ることなく、互いの考えや気持ちを英語で伝えあう学習を主に、身近な話題についての理解や表現、簡単な情報交換ができるコミュニケーション能力を養う。
 ALT配置時間/年間

年度	30年度	31年度	32年度
小学校3・4年(中学年)	15時間	15時間	18時間
小学校5・6年(高学年)	35時間	35時間	35時間
中学校各学年	25時間	25時間	25時間

<現状に対する認識>

ALTの配置状況
 小学校 8名
 中学校及び小中併設校 10名

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	51,890		51,883		60,445		61,970			
国・県										
利用者負担金										
その他			2,000		2,330		2,250			
一般財源	51,890		49,883		58,115		59,720			
② 人件費(千円)	158	人工	156	人工	1,510	人工		人工		人工
正規	158	0.0205	156	0.0205	1,510	0.2				
嘱託	0	0	0	0	0	0				
合計コスト①+②	52,048		52,039		61,955		61,970			
前年度比	—		100.0%		119.1%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	中間教室管理運営事業 (H28不登校児童生徒対策事業から名称変更)
-------	--------------------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み			○子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
5つの重点目標			
松本版総合戦略			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	不登校児童生徒対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

不登校やひきこもりがちな児童生徒への支援及び、学校復帰支援、教育相談に係る業務

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

(1) 中間教室の運営
鎌田中間教室、山辺中間教室、あかり教室の3中間教室を運営
ア 消耗品(文具、医薬品、教材等)
イ 調理実習費
ウ 燃料費
エ 修繕費
オ 電話料

(2) 中間教室通室児童・生徒数
平成28年度 小4人・中36人、平成29年度 小4人・中39人、
平成30年度小14人・中52人(※H31年3月8日現在)

(3) 不登校支援アドバイザーによる学校訪問・支援(※H31年1月4日現在)
学校訪問回数 小学校59回、中学校35回、計94回
訪問面談(校長、教頭、担任、保護者等)248回、授業参観364時間

(4) スクールソーシャルワーカーの派遣
学校訪問 小学校12回、中学校12回
支援会議 小学校5回、中学校3回
教育相談 7回
医療機関と連携したケース会議1回

(5) 医師による教育相談(元気アップ教育相談)
宮坂 義男医師担当:7月6日、10月19日、1月18日
東 孝博医師担当:5月16日、9月19日、11月21日、2月13日

<現状に対する認識>

市のSSWはを1名雇用し、元気アップ教育相談の事前相談及び当日のサポートをしていただいております。来年度は、県SSW2名が、新たに市教委に配属されることから、市SSWとも連携をとりながら、迅速かつきめ細やかな対応に努めていきます。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	5,051		832		802		1,220			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,051		832		802		1,220			
② 人件費(千円)	475	人工	475	人工	15,750	人工		人工		人工
正規	238	0.031	235	0.031	11,325	1.5				
嘱託	237	0.083	240	0.083	4,425	1.5				
合計コスト①+②	5,526		1,307		16,552		1,220			
前年度比	—		23.7%		1266.3%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校支援事業 (H28:一般管理から名称変更)
-------	----------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	学校支援事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

学校教育の充実を目的に、教職員の能力向上及び児童生徒への教育支援事業に取り組むもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- (1) 学校指導充実のための庶務的事務
- (2) 公立小中学校への市費教職員の配置
 - ア 自立支援教員(小学校・中学校)
 - イ 中学校学力向上推進教員
 - ウ 特別支援教育支援員
 - ・特別支援教育支援員
 - ・看護支援員(医療的ケア)
 - ・日本語教育支援員
 - ・部活動指導員
 - エ 中間教室適応指導員(山辺・鎌田・あかり)
- (3) 教職員の能力向上のための研修
 - ア 性教育に携わる小中学校養護教諭及び性教育担当教員向けの研修事業
 - イ 市立学校教職員研修事業(講師:埼玉大学岩川直樹教授)
 - ・学校訪問指導5校、全体講演1回
 - ウ 指導主事会議
 - エ 来年度に向けた総合・道徳・特別活動全体計画等作成研修会(市内46校参加)
- (4) 多言語通訳・翻訳(筆耕翻訳)
- (5) 文化交流年絵画交換事業
- (6) H31版「わたしたちの松本市」副読本印刷配布(小学校3年生対象)
- (7) 日本語を母語としない児童生徒支援事業(委託) コーディネーター2人
- (8) 松本城・旧開智学校絵画コンクール事業
- (9) 松本市校長会、教頭会への補助事業
 - 校長会 940,000円 教頭会 150,400円
- (10) 平成30年度運動部活動改革プラン
 - スポーツ庁が、各学校において持続可能な運動部活動が実施できるよう研究結果を周知・普及させることを目的に、運動部活動に関する実践・調査研究の委託事業
 - ア テーマ:「生徒のニーズの多様化に関する調査・実践研究」
 - イ スポーツ庁からの委託費 4,007,805円

<現状に対する認識>

H29より、小学校適応指導・学習指導改善教員及び中学校適応指導教員を「自立支援教員」と名称変更し、不登校やひきこもり状況の改善等に向けて、より充実した支援に取り組んでいます。
 ・平成30年度より、部活動指導員を8校12人を配置した。これは、中学校の部活動指導の充実を図り、働き方改革につなげるため、部活動顧問や大会の引率を行う部活動指導員の任用を支援する目的がある。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	9,659		57,499		64,474		61,260			
国・県	1,050		567		5,181		3,320			
利用者負担金										
その他										
一般財源	8,609		56,932		59,293		57,940			
② 人件費(千円)	3,153	人工	3,112	人工	17,590	人工		人工		人工
正規	3,153	0.41	3,112	0.41	14,345	1.9				
嘱託	0	0	0	0	3,245	1.1				
合計コスト①+②	12,812		60,611		82,064		61,260			
前年度比	—		473.1%		135.4%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	コミュニティスクール事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	3 地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み		○町会との協働による支えあえる地域づくり
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	コミュニティスクール事業

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

学校・家庭・地域の連携・協働による「地域とともにある学校づくり」の推進を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

(1)松本版コミュニティスクール
市内公立小中学校全校に「コミュニティスクール運営委員会」を設置。
学校は、特色ある学校、地域に開かれた信頼される学校を目指す。
地域は、35地区公民館を中心に各地区の特色を生かした地域づくりを目指す。

平成30年度運営委員会設置校	小学校	24校
	中学校	15校
	小・中学校区	4校

・平成31年度より、生涯学習課の学校サポート事業の予算と学校指導課のCS事業の予算を生涯学習課に一本化して運用。

・コミュニティスクール研修会の実施
1月10日(木) 各CS運営委員会より120名参加
参加人数
平成28年度 129人、平成29年度106人、平成30年度120名

・大手公民館の地域研修会、公民館主事会の研修会において、松本版コミュニティスクールの今後の方向を説明した。

・うきは市議会議員視察により、コミュニティスクールにおけるキャリア教育について説明した。

<現状に対する認識>

・各地区の取組について事例等の収集に努め、研修会や指導課便り等でよい取組等を広めていく必要がある。
・学校によっては、子どもたちが地域の行事等に企画の段階から関わっている地域もあり、そのような活動をどの地域でも取り組んでもらえるようにしていく。
・各学校の学校支援は、広がって幅広い活動が展開されるようになった。今後は、学校支援だけでなく、「学校運営参画」「学校関係者評価」も、もう少し具体的な話し合いができるように働きかけていく必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価	B
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,188		1,073		0		0			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,188		1,073		0		0			
② 人件費(千円)	692	人工	683	人工	1,510	人工		人工		人工
正規	692	0.09	683	0.09	1,510	0.2				
嘱託	0	0	0	0	0	0				
合計コスト①+②	1,880		1,756		1,510		0			
前年度比	—		93.4%		86.0%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校行事運営(小学校)
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	学校行事運営費(小学校)

<事業の狙い>

事業計画年度

～

小学校における学校行事のうち、教育委員会の方針によって実施するものの費用を支出し、保護者負担の軽減を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 卒業音楽会(6年生)
合唱の成果を発表する卒業音楽会の消耗品費の配当や送迎バスの手配等。
- 教育文化センター(全5年生対象)1日学習の送迎バス
教育文化センターにて、理科授業を実施する1日学習の送迎バスの手配。
- 花を育てる心育成活動
児童の花を育てる心の育成を目的に、事業実施のための消耗品費を配当するもの。なお、教育会主催で各校花壇の写真展を開催(4力所程度)。
- 山間3校(安曇、大野川、奈川)の行事用送迎バスの手配
- 奈川小学校行事用送迎車両運転業務委託
- 巡回劇場(隔年実施)

<現状に対する認識>

事業内容の見直しをしながら、より充実した学習機会の提供に努めます。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	6,500		6,455		6,503		6,820			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	6,500		6,455		6,503		6,820			
② 人件費(千円)	81	人工	81	人工	755	人工		人工		人工
正規	81	0.0105	81	0.0105	755	0.1				
嘱託	0	0	0	0	0	0				
合計コスト①+②	6,581		6,536		7,258		6,820			
前年度比	—		99.3%		111.1%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金(小学校)
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

- ・教科及び教科指導の研究へ補助し、学習指導における教育効果の向上を図る。
- ・学校行事へ補助し、学習経験の充実や保護者負担の軽減を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- (1) 小学校教科研究費補助
 H30 学校割 @25,000円× 28校=700,000円
 H30 教員割 @921円× 640人=589,440円
 市補助 1,289,440円
- (2) 小学校鑑賞音楽会補助
 H30 @200円× 12,498人(児童数)=2,499,600円
 全事業費 13,762,344円
 市補助 2,499,600円

<現状に対する認識>

事業実績の審査を徹底し、適切な補助金支出に努めます。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	4,077		3,810		4,029		3,750			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,077		3,810		4,029		3,750			
② 人件費(千円)	33	人工	33	人工	755	人工		人工		人工
正規	33	0.00425	33	0.00425	755	0.1				
嘱託	0	0	0	0	0	0				
合計コスト①+②	4,110		3,843		4,784		3,750			
前年度比	—		93.5%		124.5%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校行事運営(中学校)
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	学校行事運営費(中学校)

<事業の狙い>

事業計画年度

～

中学校における学校行事のうち、教育委員会の方針によって実施するものの費用を支出し、学習経験や各種体験の提供と保護者負担の軽減を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 高橋市中学生交流事業
市内中学生と高橋市中学生の交流を図るもの。
平成30年8月17日～19日 高橋市音楽教育訪問団受入れ、鎌田中との音楽交流やOMFに参加した。
- 中学校体育連盟による市中学生大会
中学校体育大会事務局(当番校)への消耗品費や審判謝礼の配当。賞状の印刷や送迎バスの手配をするもの。(平成30年度は当番校が鉢盛中学校のため、学校指導課が予算を執行)
- 教育文化センター(全1学年対象)1日学習の送迎バス
教育文化センターにて、理科授業を実施する1日学習の送迎バスの手配。
- 会田中学校水泳授業生徒送迎バス
当該中学校生徒をB&G四賀海洋センターへ送迎するもの。
- 花を育てる心育成活動
児童の花を育てる心の育成を目的に、事業実施のための消耗品費を配当するもの。なお、教育会主催で各校花壇の写真展を開催(4カ所程度)
- 奈川中学校行事用送迎車両運転業務委託

<現状に対する認識>

事業内容の見直しをしながら、より充実した学習機会の提供に努めます。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	5,038		8,217		4,643		10,270			
国・県										
利用者負担金			720							
その他										
一般財源	5,038		7,497		4,643		10,270			
② 人件費(千円)	81	人工	81	人工	8,895	人工		人工		人工
正規	81	0.0105	81	0.0105	8,305	1.1				
嘱託	0	0	0	0	590	0.2				
合計コスト①+②	5,119		8,298		13,538		10,270			
前年度比	—		162.1%		163.2%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金(中学)
-------	---------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

・教科及び教科指導の研究へ補助し、学習指導における教育効果の向上を図る。
 ・学校行事や山間校の部活動へ補助し、学習経験の充実や保護者負担の軽減を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

(1) 中学校教科研究費補助
 H30 学校割 @25,000× 19校=475,000円
 教員割 @1,054× 384人=404,736円
 市補助 879,736円

(2) 中学校鑑賞音楽会補助
 H30 @400円× 5,857人(生徒数)=2,342,800円
 全事業費 5,657,875円
 市補助 2,342,800円

(3) 大野川中学校部活補助
 H30 60,000円

<現状に対する認識>

事業実績の審査を徹底し、適切な補助金支出に努めます。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	3,382		3,316		3,282		3,280			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	3,382		3,316		3,282		3,280			
② 人件費(千円)	33	人工	33	人工	755	人工		人工		人工
正規	33	0.00425	33	0.00425	755	0.1				
嘱託	0	0	0	0	0	0				
合計コスト①+②	3,415		3,349		4,037		3,280			
前年度比	—		98.1%		120.6%		—			

学校給食課

課長 清澤 秀幸

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	アレルギー対応食提供事業
-------	--------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	学校給食センター管理運営費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

H17~

食物アレルギー疾患を持つ児童・生徒に対して、等しく学校給食を提供する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 食物アレルギーを持つ児童・生徒一人ひとりの症状に合った対応食を提供
- 緊急時におけるより一層の対応の充実を図ることを目的に、全校に校内食物アレルギー対応委員会の設置を依頼
- 緊急時の対応について、全校対象に緊急対応マニュアルを見直し、エピペンの使用研修会等を実施
- 個別の懇談会等で食物アレルギーの最新情報を提供します。また、経口負荷試験等解除の進め方を発信

<現状に対する認識>

近年増加を続けるアレルギー対応食提供者に対し、解除に向けた取り組みを継続していく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	アレルギー対応食提供者数				
指標の設定理由	増加傾向にあるアレルギー対応食の解除に向けた取り組み				
目標値	215.0	220.0	220.0	220.0	220.0
実績値	182	183	190		
達成度	84.7%	83.2%	86.4%		
② 成果指標(指標名)	誤食等事故件数				
指標の設定理由	安心安全な給食の提供				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	3	4	0		
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	284		360		127		80			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	284		360		127		80			
② 人件費(千円)	29,630	人工	29,660	人工	39,050	人工		人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2	30,200	4				
嘱託	14,250	5	14,480	5	8,850	3				
合計コスト①+②	29,914		30,020		39,177		80			
前年度比	—		100.4%		130.5%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校給食センター管理運営事業
-------	----------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	学校給食センター管理運営費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

H17~

市内(梓川地区)の児童・生徒に安全で安心な学校給食を提供する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 徹底した衛生管理の実施
2 既存設備に係る修繕等による給食提供の確保 (献立作成→食材発注→検収→調理→配送→回収→洗浄→準備)

<現状に対する認識>

給食停止が発生しないよう学校給食の提供を確保していくもの。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	給食実施延べ日数				
指標の設定理由	安定した給食の提供の実施				
目標値	212.0	204.0	202.0	198.0	198.0
実績値	204	202	198		
達成度	96.2%	99.0%	98.0%		
② 成果指標(指標名)	事故等による給食停止日数				
指標の設定理由	職員の安全衛生管理及び事故防止の徹底				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0		
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	17,468		16,016		16,291		15,833			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	17,468		16,016		16,291		15,833			
② 人件費(千円)	39,310	人工	39,048	人工	39,050	人工		人工		人工
正規	30,760	4	30,360	4	30,200	4				
嘱託	8,550	3	8,688	3	8,850	3				
合計コスト①+②	56,778		55,064		55,341		15,833			
前年度比	—		97.0%		100.5%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校給食センター管理運営事業
-------	----------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	学校給食センター管理運営費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

H17~

市内(四賀地区)の児童・生徒に安全で安心な学校給食を提供する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 徹底した衛生管理の実施
2 既存設備に係る修繕等による給食提供の確保 (献立作成→食材発注→検収→調理→配送→回収→洗浄→準備)

<現状に対する認識>

給食停止が発生しないよう学校給食の提供を確保していくもの。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	給食実施延べ日数				
指標の設定理由	安定した給食の提供の実施				
目標値	212.0	200.0	200.0	200.0	200.0
実績値	200	200	200		
達成度	94.3%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)	事故等による給食停止日数				
指標の設定理由	職員の安全衛生管理及び事故防止の徹底				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0		
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	6,112		4,690		4,682		4,731			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	6,112		4,690		4,682		4,731			
② 人件費(千円)	23,930	人工	23,868	人工	23,950	人工		人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2	15,100	2				
嘱託	8,550	3	8,688	3	8,850	3				
合計コスト①+②	30,042		28,558		28,632		4,731			
前年度比	—		95.1%		100.3%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校給食センター管理運営事業
-------	----------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	学校給食センター管理運営費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

<事業の狙い>

事業計画年度

H17~

市内(西部センター管内)の児童・生徒に安全で安心な学校給食を提供する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 徹底した衛生管理の実施
2 既存設備に係る修繕等による給食提供の確保 (献立作成→食材発注→検収→調理→配送→回収→洗浄→準備)

<現状に対する認識>

給食停止が発生しないように学校給食の提供を実施するもの。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	給食実施延べ日数				
指標の設定理由	安定した給食の提供の実施				
目標値	213.0	194.0	194.0	194.0	194.0
実績値	194	194	194		
達成度	91.1%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)	事故等による給食停止日数				
指標の設定理由	職員の安全衛生管理及び事故防止の徹底				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0		
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	230,627		206,506		194,666		203,235			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	230,627		206,506		194,666		203,235			
② 人件費(千円)	239,300	人工	238,680	人工	259,200	人工		人工		人工
正規	153,800	20	151,800	20	173,650	23				
嘱託	85,500	30	86,880	30	85,550	29				
合計コスト①+②	469,927		445,186		453,866		203,235			
前年度比	—		94.7%		101.9%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校給食センター管理運営事業
-------	----------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	学校給食センター管理運営費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

H17~

市内(東部センター管内)の児童・生徒に安全で安心な学校給食を提供する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 徹底した衛生管理の実施
2 既存設備に係る修繕等による給食提供の確保 (献立作成→食材発注→検収→調理→配送→回収→洗浄→準備)

<現状に対する認識>

給食停止が発生しないよう学校給食の提供を確保していくもの。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	給食実施延べ日数				
指標の設定理由	安定した給食の提供の実施				
目標値	212.0	194.0	194.0	194.0	194.0
実績値	194	194	194		
達成度	91.5%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)	事故等による給食停止日数				
指標の設定理由	職員の安全衛生管理及び事故防止の徹底				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0		
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	166,359		168,381		171,044		184,008			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	166,359		168,381		171,044		184,008			
② 人件費(千円)	239,300	人工	235,784	人工	224,400	人工		人工		人工
正規	153,800	20	151,800	20	135,900	18				
嘱託	85,500	30	83,984	29	88,500	30				
合計コスト①+②	405,659		404,165		395,444		184,008			
前年度比	—		99.6%		97.8%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校給食センター管理運営事業
-------	----------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	学校給食センター管理運営費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

<事業の狙い>

事業計画年度

H17~

市内(波田地区)の児童・生徒に安全で安心な学校給食を提供する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 徹底した衛生管理の実施
2 既存設備に係る修繕等による給食提供の確保 (献立作成→食材発注→検収→調理→配送→回収→洗浄→準備)

<現状に対する認識>

給食停止が発生しないよう学校給食の提供を確保していくもの。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	給食実施延べ日数				
指標の設定理由	安定した給食の提供の実施				
目標値	211.0	204.0	204.0	202.0	202.0
実績値	204	204	202		
達成度	96.7%	100.0%	99.0%		
② 成果指標(指標名)	事故等による給食停止日数				
指標の設定理由	職員の安全衛生管理及び事故防止の徹底				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0			
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	21,482		21,530		22,703		23,273			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	21,482		21,530		22,703		23,273			
② 人件費(千円)	42,160	人工	41,944	人工	42,000	人工		人工		人工
正規	30,760	4	30,360	4	30,200	4				
嘱託	11,400	4	11,584	4	11,800	4				
合計コスト①+②	63,642		63,474		64,703		23,273			
前年度比	—		99.7%		101.9%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校給食管理運営事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	学校給食管理運営費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

<事業の狙い>

事業計画年度

H17~

市内(安曇、大野川、奈川地区)の児童・生徒に安全で安心な学校給食を提供する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 徹底した衛生管理の実施
2 既存設備に係る修繕等による給食提供の確保 (献立作成→食材発注→検収→調理→配送→回収→洗浄→準備)

<現状に対する認識>

給食停止が発生しないよう学校給食の提供を確保していくもの。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	給食実施延べ日数				
指標の設定理由	安定した給食の提供の実施				
目標値	203.0	199.0	201.0	201.0	201.0
実績値	199	198	201		
達成度	98.0%	99.5%	100.0%		
② 成果指標(指標名)	事故等による給食停止日数				
指標の設定理由	職員の安全衛生管理及び事故防止の徹底				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0			
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	11,480		10,888		12,240		11,640			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	11,480		10,888		12,240		11,640			
② 人件費(千円)	26,780	人工	26,764	人工	17,700	人工		人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2	0	0				
嘱託	11,400	4	11,584	4	17,700	6				
合計コスト①+②	38,260		37,652		29,940		11,640			
前年度比	—		98.4%		79.5%		—			

事務事業評価票

事務事業名	学校給食施設改修事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	学校給食施設改修事業

<事業の狙い>

事業計画年度

H28~

安定的な給食提供を行うため、老朽化した施設改修を計画的に実施する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 建築設備の更新、改修
 - (1) 調理場内のステンレス化
 - (2) 調理場床の改修
- 2 機械設備の更新、改修
 - (1) ボイラーの更新、増設
 - (2) 空調設備の改修

<現状に対する認識>

安全で安心な学校給食を安定的に提供する。

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事業の進捗率(コストベース)単位:千円				
指標の設定理由	安定した給食提供のための設備改修及び更新				
目標値	0.0	30,620	51,120	12,880	13,340
実績値	0	30,598	50,903		
達成度		99.9%	99.6%		
② 成果指標(指標名)	事故等による給食停止日数				
指標の設定理由	施設設備の安定的な稼働				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0		
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	0	30,598	50,903	12,880	
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	0	30,598	50,903	12,880	
② 人件費(千円)	0	人工	人工	人工	人工
正規	0	0	0		
嘱託	0	0	0		
合計コスト①+②	0	30,598	50,903	12,880	
前年度比	—	—	166.4%	—	

事務事業評価票

事務事業名	給食厨房設備更新事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	給食厨房設備更新事業

<事業の狙い>

事業計画年度

H13~

安定的な給食提供を行うため、老朽化した厨房機器、食器の更新を計画的に実施する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 厨房機器、食器の更新
 - (1) 給食運搬コンテナ更新
 - (2) 連続焼物機更新
- 2 厨房機器のオーバーホールによる機器の延命化
 - (1) 連続ガスフライヤーオーバーホール
 - (2) 食器洗浄機オーバーホール

<現状に対する認識>

安全で安心な学校給食を安定的に提供する。

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事業の進捗率(コストベース) 単位:千円				
指標の設定理由	安定した給食提供のための機器の修繕及び更新				
目標値	44,030	75,440	58,970	55,330	12,880
実績値	23,360	16,235	54,938		
達成度	53.1%	21.5%	93.2%		
② 成果指標(指標名)	事故等による給食停止日数				
指標の設定理由	施設内の厨房機器のメンテナンスの徹底				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0		
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	23,258	16,235	54,938	55,330	
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	23,258	16,235	54,938	55,330	
② 人件費(千円)	0	人工	0	人工	人工
正規	0	0	0		
嘱託	0	0	0		
合計コスト①+②	23,258	16,235	54,938	55,330	
前年度比	—	69.8%	338.4%	—	

生涯学習課

課長 栗田 正和

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	青少年ホーム事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	○	学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	青少年ホーム事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

15歳以上35歳未満の青少年を対象に、各種講座やイベントを通して自分づくり、仲間づくりや交流、社会参画の促進を図り、若者の居場所づくりを進める。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 相談事業(ヤングキャリアメンター)
産業カウンセラー等による人生問題、職業生活上の悩み相談を実施
- ホーム主催事業
 - ヤングスクール
夏、秋、冬の3期に分けて各期約15講座開催
 - 交流事業
独身男女交流会、スノーボードスクール等で交流を図る。
 - ホームコーディネーター事業
新規事業の展開を図り、多くの青少年が気軽に集まれる魅力ある居場所づくりを推進する。(ボードゲームカフェ、スポーツDAYなど)
- サークル活動
7サークルが活動中
- 利用者の会自主活動
 - 交流事業
松本ほんぼん、バーベキュー、運動会、ホーム祭等を自主企画。
 - ボランティア活動
子どもまつり、成人式、なんなんひろば文化祭への参加。

<現状に対する認識>

若者のライフスタイルの多様化及び少子化により、利用者が減少している。ホームページやSNS等を活用し、スキルアップや出会いと交流の場としてのホームの周知に努める。
また、講座やイベントの企画運営に長けたコーディネーターと連携し、若者の居場所づくりを推進する。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	講座等実施数				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	140.0	140.0	140.0	140.0	140.0
実績値	137	139	154		
達成度	97.9%	99.3%	110.0%		
② 成果指標(指標名)	登録会員数				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	400	400	400	400	400
実績値	355	323	338		
達成度	88.8%	80.8%	84.5%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,349		1,102		1,163		1,130			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,349		1,102		1,163		1,130			
② 人件費(千円)	15,810	人工	15,720	人工	15,750	人工		人工		人工
正規	11,535	1.5	11,385	1.5	11,325	1.5				
嘱託	4,275	1.5	4,335	1.5	4,425	1.5				
合計コスト①+②	17,159		16,822		16,913		1,130			
前年度比	—		98.0%		100.5%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	「生きる力(キャリア教育)」育成事業
-------	--------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実	
5つの重点目標	2 次世代を育むまちづくり	
松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	「生きる力(キャリア教育)」育成事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

主体性や問題解決力等、児童・生徒の社会的自立に向けて生きる力の育成を目指す。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 社会参画体験プログラム
 - 子どもプレイパークの実施(学都フォーラムと同時開催)
子どもが主体となって、子どもたちが楽しく遊べるイベントの企画運営。
 - 子ども地域チャレンジ
子どもたちが、地域の課題を考え、地域を良くするための体験活動。
- 子ども参観日
子どもが、保護者の働く姿を参観することで、働くことに対する子どもの理解を深める。
- 社会スタディーゼミの実施支援
中学生に対し、社会人による講座を実施し、仕事について考える機会を提供する。
- 中学校での職場体験の支援
各学校に配布する、職場体験協力企業一覧の整備。

<現状に対する認識>

子どもたちが社会参画する場とそれを支援する社会的意識も広がってきたこと、平成30年度から松本版コミュニティスクールが始まったことなどの理由によりキャリア推進協議会は平成30年度で発展的に解散します。
 今後は松本版コミュニティスクールの充実や、公民館との連携、学校の教育活動全体を通じたキャリア教育の充実を図っていく必要があります。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある児童・生徒の割合				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	79.30%	79.30%	79.30%	79.30%	79.30%
実績値	76.00%	70.60%	68.60%		
達成度	95.8%	89.0%	86.5%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	782		643		460		0			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	782		643		460		0			
② 人件費(千円)	9,115	人工	4,373	人工	4,365	人工		人工		人工
正規	7,690	1	3,795	0.5	3,775	0.5				
嘱託	1,425	0.5	578	0.2	590	0.2				
合計コスト①+②	9,897		5,016		4,825		0			
前年度比	—		50.7%		96.2%		—			

事務事業評価票

事務事業名	生涯学習推進
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	生涯学習推進費

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実	
5つの重点目標	1 健康とさずなづくり	
松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

学習活動で学んだ知識や技術が人と人との活動を通じた繋がりの中から地域へとひろがり、地域社会に活かされる松本らしい生涯学習施策を推進するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 公民館研究集会
安心していきいきと暮らせる住みよい地域社会をつくるため、住民・行政・地縁団体・市民活動団体などが集い、自治力の必要性や高め方、協働のあり方などを考え、まちづくりについて学び合う集会を年1回開催
- 学びの森いんふおめーしょん発行
市民及び関係機関などの生涯学習関連情報を収集し、情報誌「学びの森いんふおめーしょん」を年4回(5月、8月、11月、2月)発行
- 地区独自事業
 - 四賀地区夏祭り事業
旧四賀村からの継続事業として、地域活性化を目的に四賀地区住民が一堂に会する夏祭りを開催
 - 梓川・御浜町交流事業
旧梓川村の友好親善提携に基づき、梓川子ども会育成会と御浜町小学校5・6年生の交流を実施
 - 安曇・松崎町交流事業
旧安曇村の姉妹都市である松崎町と安曇地区の交流事業として松崎中学校及び安曇中学校、大野川中学校2学年生徒の交流を実施

<現状に対する認識>

公民館研究集会では、関係者や関係機関が一堂に会して議論し、得られた学習成果とネットワークは各地区の地域づくりに活かされている。また、学びの森いんふおめーしょんでは、市内で開催される学習や活動している団体の情報提供から、生涯学習機会の充実が図られている。さらに、地区事業では、合併前から継続する地域の魅力や特性を活かした活動により地域づくりが推進されている。

<指標の達成状況>

	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	松本市公民館研究集会への参加人数				
指標の設定理由	実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	500	500	500	500	500
実績値	1115	467	378		
達成度	223.0%	93.4%	75.6%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由	活動状況を直接的に測定できるため				
目標値	600	600	600	600	600
実績値	576	578	562		
達成度	96.0%	96.3%	93.7%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	4,028		4,310		4,349		4,440			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,028		4,310		4,349		4,440			
② 人件費(千円)	25,780	人工	25,622	人工	25,660	人工		人工		人工
正規	19,225	2.5	18,975	2.5	18,875	2.5				
嘱託	6,555	2.3	6,647	2.3	6,785	2.3				
合計コスト①+②	29,808		29,932		30,009		4,440			
前年度比	—		100.4%		100.3%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金(専修学校各種学校連合会補助金等)
-------	----------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	622	社会教育環境の整備
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実	
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

- 専修学校各種学校連合会補助金
専修・各種学校教職員の能力向上を図るため補助金を交付するもの
- 町内公民館整備補助金
地域住民の活動拠点となる町内の集会施設の整備を図り、地域づくりの発展に寄与するため、施設の整備に対して補助金を交付するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 専修学校各種学校連合会補助金
専修学校・各種学校に所属する教職員の能力向上のために行われる研修会に対し補助金を交付
(40,000円×11校)
- 町内公民館整備補助金
町内の集会施設(町内公民館)の整備(新築、改築、改修、建設用地取得、福祉関連・耐震補強整備など)について要望のある町会へ補助金を交付
(103件)

区分	補助率	限度額	実績
新築・改築	1/2	10,000千円	4件
増築	1/2	6,000千円	1件
改修	1/2	5,000千円	47件
福祉・耐震	2/3	5,000千円	10件
土地取得	2/3	10,000千円	0件
建物取得	1/2	8,000千円	0件
借地・借家	1/2	50千円	41件
計			103件

<現状に対する認識>

- 旧耐震基準の建物の耐震化(耐震補強工事又は改築)や、旧市内における町内公民館の設置が進まないという課題がある。
- 町会から補助内容拡充についての要望が寄せられている(実態調査)。
- 上記を踏まえて、新たな制度設計を進める必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	専修学校・各種学校所属職員対象の研修会参加者数				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	93	93	119	116	
実績値	93	119	116		
達成度	100.0%	128.0%	97.5%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	61,144		29,825		90,260		87,440			
国・県					7,000		7,000			
利用者負担金										
その他										
一般財源	61,144		29,825		83,450		80,440			
② 人件費(千円)	3,076	人工	3,036	人工	4,530	人工		人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	4,530	0.6				
嘱託	0	0	0	0	0	0				
合計コスト①+②	64,220		32,861		94,790		87,440			
前年度比	—		51.2%		288.5%		—			

事務事業評価票

事務事業名	百竹亭管理
-------	-------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	百竹亭管理費

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	#REF!
-----	-----	----	-------	-----	-------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	6	#REF!	市長公約 主な取組み	公約	#REF!
政策の方向(まちの姿)	2	#REF!		5つの重点目標	5 将来世代のためのハード整備
基本施策(個別目標)	622	#REF!		松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

池上喜作氏の遺族から寄贈を受けた建物(住居、茶室、庭園等)を整備し、生涯学習施設として広く市民に提供を行うことにより、教育文化活動の振興を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 指定管理者の指定・管理委託
 - 指定管理者制度の導入により、効率的かつ更なる利用促進が期待できる。
 - 自主事業・利用促進事業の実施
 - ア 月1回(8・1～3月を除く)の月釜茶会
 - イ 扇子・うちわ、湯たんぽ・ひざ掛けの無料貸し出しサービス
 - ウ オープンガーデンへの参加
- 樹木剪定等業務委託
 毎年度末に樹木剪定・整備を実施し、裏千家流儀の庭園内の景観を維持する。また、蚊や蜂等の害虫の発生を抑制する効果が見られた。
- 茶室屋根改修工事
 落葉等が堆積しやすい形状のため排水不良による雨漏りが発生しており、建物の損傷の恐れがあるため、改修工事を実施したもの。
- 利用状況
 - 開館日数:309日(月曜日及び12月29日～1月3日休館)
 - 利用人数:2,765人
 - 利用件数:846件

<現状に対する認識>

建物と庭園の一部に老朽化が見られるが、施設利用者の漸減など、管理運営費に見合う効果があがっていないため、今後の施設のあり方を検討し、それに基づいた施設の整備が必要。

文化財としての価値(登録有形文化財の申請等)を検討しつつ、松本城から旧開智学校への動線など、歴史文化資源を活かしたまちづくりに百竹亭を有機的に生かす方法を考える必要がある。

<指標の達成状況>

	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	延利用者数(現状維持)				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	4,029	3,605	2,978	2,765	
実績値	3,605	2,978	2,765		
達成度	89.5%	82.6%	92.8%		
② 成果指標(指標名)	施設の利用率(利用日数/開館日数)(現状維持)				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	79.9%	72.7%	69.6%	64.1%	
実績値	72.7%	69.6%	64.1%		
達成度	91.0%	95.7%	92.1%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
① 事業費(千円)	5,916	6,011	9,564	6,140				
国・県								
利用者負担金								
その他								
一般財源	5,916	6,011	9,564	6,140				
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1		
嘱託	0	0	0	0	0	0		
合計コスト①+②	6,685	6,770	10,319	6,140				
前年度比	—	101.3%	152.4%	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	ふれあいパーク乗鞍管理運営
-------	---------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	622	社会教育環境の整備
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	○	学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	ふれあいパーク乗鞍管理運営費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

水力発電施設周辺地域の福祉の向上及びコミュニティづくりと市民の生涯学習の推進を図る。広く市民に提供するとともに、指定管理者制度の導入により、効率的かつ更なる利用促進が期待できる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 指定管理者の指定・管理委託
 - 住民の会議、サークル活動、学校教育活動に係る施設の維持管理及び運営
 - 自主事業の実施
 - ア 8月18日 サマーセミナー&フリーマーケット(参加者59名)
 - イ 10月30日 防災訓練講習会(参加者40名)
- 利用状況
 - 利用人数: 2,774人
 - 利用件数: 194件

<現状に対する認識>

立地上利用者が限られるが、乗鞍が安曇基幹集落センターから車で30分かかるため地域の公民館的施設として利用されている。現状の稼働を維持しつつ、地域コミュニティの拠点としての役割を果たしていくため、高齢化・人口減少が進む地域性について考慮し、例えば地域の商工観光部門との連携等、幅広い視点から住民の利用促進がなされる方策を検討する必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	延利用者数(現状維持)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	3,984	2,863	3,597	2,774	
実績値	2,863	3,597	2,774		
達成度	71.9%	125.6%	77.1%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,931		1,986		1,700		1,690			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,931		1,986		1,700		1,690			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託	0	0	0	0	0	0				
合計コスト①+②	3,700		2,745		2,455		1,690			
前年度比	—		74.2%		89.4%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	文化センター夢の森管理運営
-------	---------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実	
5つの重点目標	5 将来世代のためのハード整備	
松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	文化センター夢の森管理運営費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

当該施設は、公民館活動及び地域づくりの拠点施設であるほか、避難所に指定されているため、利用者が安心して安全に利用できるよう適正な管理を行い、利便性の向上及び利用促進を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 奈川文化センター夢の森改修事業
 公民館活動や地域づくりの拠点施設である当該施設を、利用者に安心・安全で快適に利用してもらうため、修繕・更新等を行うもの。

<現状に対する認識>

当該施設は、公民館活動及び地域づくりの拠点施設であるほか、避難所に指定されている。しかし、建設後20年以上が経過しており、経年劣化による故障もしくは更新時期の超過等により維持管理に支障を来しているため、計画的な修繕や改修等が必要である。

<指標の達成状況>

総合評価	B
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	利用者数				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	9,936	9,300	9,300	9,300	9,300
実績値	9,237	5,074	5,695		
達成度	93.0%	54.6%	61.2%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	10,267		9,744		9,914		8,560			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	10,267		9,744		9,914		8,560			
② 人件費(千円)	2,678	人工	2,674	人工	2,646	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,352	0.2				
嘱託	1,140	0.4	1,156	0.4	1,294	0.4				
合計コスト①+②	12,945		12,418		12,560		8,560			
前年度比	—		95.9%		101.1%		—			

事務事業評価票

事務事業名	あがたの森文化会館管理運営
-------	---------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	あがたの森文化会館管理運営費

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます		
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち	主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実			
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標	5 将来世代のためのハード整備			
—	—	—	松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり			

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

あがたの森文化会館(重要文化財旧松本高等学校)を、市民の生涯学習・文化活動の拠点とするため、適切な保存及び改修等を進め、より一層の活用を図ることを目的とする。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 生涯学習活動促進事業
様々な世代の生涯学習活動を促進するため、主催自主事業を開催する。
- 文化会館貸館管理事業
貸館等により市民の学習活動を支援する。また、保存活用計画に基づいた環境整備を行う。
- 旧松本高等学校校舎耐震化事業
あがたの森文化会館は生涯学習の拠点として年間10万人を超える利用がある。利用者の生命を守るとともに、建物の良好な状態で保存するために、耐震補強工事を計画的に実施するもの。
・工事スケジュール
講堂2カ年本館4カ年の合計6カ年計画
講堂:Ⅰ期工事(2018)Ⅱ期工事(2019)
本館:南棟東(2020)、南棟西(2021)、西棟(2022)、北棟(2023)

◆指標＝利用者人数(人)
工事による利用者減が見込まれる。
平成30年度は台風による臨時休館及びそれに起因する暖房機故障により、利用者数が減となった。

<現状に対する認識>

電気機器(火災報知設備、電灯類等)、冷暖房機器の老朽化、外壁塗装の劣化が目立ってきている。利用者の安全性や利便性、景観を保持するため、計画的な修繕や改修を行っていく必要がある。

<指標の達成状況>

		総合評価		B		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 成果指標(指標名)	利用者数					
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため					
目標値	116,300	111,000	87,800	80,500	72,400	
実績値	109,913	103,937	68,094			
達成度	94.5%	93.6%	77.6%			
② 成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	26,668	24,213	54,360	66,710	
国・県	6,970	4,865	19,210	26,970	
利用者負担金					
その他					
一般財源	19,698	19,348	35,150	39,740	
② 人件費(千円)	26,780	26,740	26,900		
正規	15,380	15,180	15,100		
嘱託	11,400	11,560	11,800		
人工	2	2	2		
人工	4	4	4		
人工					
人工					
合計コスト①+②	53,448	50,953	81,260	66,710	
前年度比	—	95.3%	159.5%	—	

事務事業評価票

事務事業名	単独学級講座事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独学級講座事業費

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	1	健康とさずなづくり
松本版総合戦略		⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

暮らしや生活に関わる身近な課題やその課題解決に向けた学習・事業を実施し、住民自らが主体的に行動する力(自治と活力)を育みながら、安心して住みよい地域づくりを推進するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 内容

暮らしの質を高め誰もが安心して住みよい地域をめざすため、仲間づくりをはじめ、生活や暮らしに関わる身近な課題や地域の課題を解決するために、様々な講座や事業を開催

- ・学習・文化・スポーツ活動
- ・暮らしと地域を見つめる講座・事業
- ・世代間交流、外国籍住民支援
- ・町内公民館の活動支援、サークル活動への支援
- ・歴史の記録、学習会の記録、史跡の保護・保全

<現状に対する認識>

幅広い住民の草の根活動を支え、響き合う関係から、住民参加型社会の担い手を地域から生みだし、住民の自治力と活力の高揚が図られる。
地域の様々な人材の掘り起しがされ、特色ある地域づくり活動の推進と地域の担い手、人材の育成が図られる。

<指標の達成状況>

	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	公民館活動利用人数(学級・講座・諸集会等)(人)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	180,000	180,000	180,000	180,000	180,000
実績値	190,423	214,221	171,273		
達成度	105.8%	119.0%	95.2%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	17,913	17,672	17,718	19,890	
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	17,913	17,672	17,718	19,890	
② 人件費(千円)	197,609	196,411	196,715		
正規	146,879	144,969	144,205		
嘱託	50,730	51,442	52,510		
人工	19.1	19.1	19.1		
人工	17.8	17.8	17.8		
合計コスト①+②	215,522	214,083	214,433	19,890	
前年度比	—	99.3%	100.2%	—	

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	公民館報作成事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実	
5つの重点目標	1 健康とさずなづくり	
松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	公民館報作成事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

地区の歴史、年間行事、人物や文化活動・生涯学習活動など、住民自治に根ざした地域づくりのための問題提起、学習教材の提供など、住民の自由な発想と構想を活かした学習情報誌を発行するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 住民が館報編集委員会(各地区・全市版)を組織し、館報を編集し年6回(奇数月の30日)発行(全市版4頁、各地区版2頁)
2 内容
(1) 学習資料や地域情報の提供
(2) 公民館活動の広報
(3) 住民の声
(4) 地域の歴史資料 他

<現状に対する認識>

住民や地域、行政の動きを知らせるとともに、学習活動の資料となっている。地域住民の声を反映し、地域の連帯と交流の推進が図れる。住民相互のつながりを深めながら、その地区ならではの地域づくりの推進に向けた学習と討論、実践の学習教材となっている。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	年間発行回数(回)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	6	6	6	6	6
実績値	6	6	6		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)	公民館委員数(館報編集委員)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	297	297	297	297	297
実績値	297	297	319		
達成度	100.0%	100.0%	107.4%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	18,449		18,449		18,448		18,630			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	18,449		18,449		18,448		18,630			
② 人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,550	人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1				
嘱託	0	0	0	0	0	0				
合計コスト①+②	26,139		26,039		25,998		18,630			
前年度比	—		99.6%		99.8%		—			

事務事業評価票

事務事業名	芸術文化事業
-------	--------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	芸術文化事業費

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち		主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標	1 健康とさずなづくり	
—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
多くの市民が気軽に楽しく文化芸術にふれあう機会を創出し、市民の主體的、継続的な文化芸術活動の促進を図るもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 内容
(1) 松本市芸術文化祭事業 地域に根ざした文化芸術を育むために、「松本市芸術文化祭実行委員会」へ委託し通年発表会や公演、展示会を開催するもの
(2) お城盆踊り 松本市の象徴、国宝松本城のもとで郷土愛を育み、市民と観光客等の交流を図りながら、松本らしさの文化を継承する盆踊りを開催するもの
2 30年度実績
(1) 松本市芸術文化祭参加者数 23,504人
(2) お城盆踊り参加者数 520人

＜現状に対する認識＞
幅広い市民による文化芸術活動の発表の場とともに、創造性や感性を育み、人生に生きがいや感動を与える機会になっている。 子どもや若年層の参加により、文化芸術の担い手育成の場となっている。 市、また各地域に伝承される文化芸術への理解を図る場となっている。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	参加者数(人)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	25,700	25,700	25,700	25,700	25,700
実績値	26,504	27,940	23,504		
達成度	103.1%	108.7%	91.5%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	5,099	5,109	5,108	10,110	
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	5,099	5,109	5,108	10,110	
② 人件費(千円)	2,592	2,566	2,560		
正規	2,307	2,277	2,265		
嘱託	285	289	295		
合計コスト①+②	7,691	7,675	7,668	10,110	
前年度比	—	99.8%	99.9%	—	

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	町内公民館振興事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	1	健康とさずなづくり
松本版総合戦略		⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	町内公民館振興事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

町内の住民が親睦や交流、学習活動を通じて互いの思いを認め合いながら、町内の連帯意識を育てていく町内公民館活動の振興を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 内容
身近な地域づくりの拠点となる町内公民館事業の振興を図るため、町内公民館活動のきっかけづくりとして委託料を交付

(1) 委託先 地区町内公民館長会会長

(2) 委託料 1町会につき

200世帯まで	30,000円
201～400世帯まで	31,000円
401世帯以上	32,000円

2 30年度実績

487町内公民館と委託契約を締結	
200世帯まで	330町内公民館
201～400世帯まで	88町内公民館
401世帯以上	69町内公民館

<現状に対する認識>

最も身近な活動拠点として、住民自治を育み、地域力の向上と、町内の人間関係を良好に保ち、町内の活性化、地域の絆づくりの推進が図られている。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	契約締結町内公民館数				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	488	488	488	488	488
実績値	488	488	487		
達成度	100.0%	100.0%	99.8%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	14,865		14,865		14,836		14,850			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	14,865		14,865		14,836		14,850			
② 人件費(千円)	36,890	人工	36,680	人工	36,750	人工		人工		人工
正規	26,915	3.5	26,565	3.5	26,425	3.5				
嘱託	9,975	3.5	10,115	3.5	10,325	3.5				
合計コスト①+②	51,755		51,545		51,586		14,850			
前年度比	—		99.6%		100.1%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	食育事業
-------	------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
市長公約	主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	1	健康とさずなづくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	食育事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

自然に恵まれた松本市の特性を生かし、人と人とのつながりを大切にみんなで食を楽しみ、豊かな食習慣を育て、心と体の健やかな自立を目指すもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 内容	各地区公民館で、ライフステージに応じた地域での食育を推進するために各種講座や学習会を開催
(1) 講座等の例	親子料理教室、農業体験、地産地消を考える講座、郷土食を学ぶ講座、生活習慣予防の食生活を考える講座 他
(2) 連携団体等	食生活改善協議会、健康づくり推進委員会、農協、生産者 他
2 30年度実績	(1) 講座数 81講座(177回) (2) 延参加人数 4,234人

<現状に対する認識>

先人から育まれてきた地域の食の多様性や豊かな味覚や文化の香り溢れる伝統的な「食」を学び、伝承する気運が図られる。
食育に関わる団体等とのネットワークの構築が進み、地域の特性を生かした地域づくりの推進に繋がっている。
食を通じた多世代交流の機会として定着している地区もみられる。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	講座実施回数(回)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	150	150	150	150	150
実績値	200	171	177		
達成度	133.3%	114.0%	118.0%		
② 成果指標(指標名)	参加者数(人)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	3,561	3,596	3,631	3,667	3,703
実績値	3,696	3,849	4,234		
達成度	103.8%	107.0%	116.6%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	700		681		650		760			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	700		681		650		760			
② 人件費(千円)	36,890	人工	36,680	人工	36,750	人工		人工		人工
正規	26,915	3.5	26,565	3.5	26,425	3.5				
嘱託	9,975	3.5	10,115	3.5	10,325	3.5				
合計コスト①+②	37,590		37,361		37,400		760			
前年度比	—		99.4%		100.1%		—			

事務事業評価票

事務事業名	公民館管理運営
-------	---------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	公民館管理運営費

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち	市長公約	主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実	
基本施策(個別目標)	622	社会教育環境の整備	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備	
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
市民生活文化の振興及び福祉の増進、また生涯学習の推進を目的に、中央公民館及び地区公民館の管理運営を行う。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
より多くの市民に公民館を利用していただけるよう備品更新計画に基づき計画的に備品を更新。併せて施設状況を調査・把握して計画的に修繕・営繕工事を実施し、安心して利用できる学習環境を整備した。
1 備品等修繕・営繕工事の実施 修繕:空調機器、消防設備等61件実施 工事:松南地区公民館タイル内壁改修、冷暖房機器更新、消防用設備更新等30件実施
2 業務委託 (1) 保守点検 自家用電気工作物保安管理業務、地区公民館電力デマンド監視業務、消防用設備、エレベーター、自動ドア等保守点検業務等の委託 (2) 管理 中央公民館等の時間外管理業務、中央公民館ホール等の維持管理業務の委託 (3) 清掃:公民館内清掃業務の委託
3 備品購入 会議室机・椅子、プロジェクター、ホワイトボードなど利用者備品の更新

＜現状に対する認識＞
市民の学習要望は年々多様化しており、的確なニーズの把握とそれに応じた学習環境の整備について、研究・検討を進める必要がある。 また、施設の老朽化に伴う暖房等の空調設備や会議室の机・椅子等の修繕・更新など、市民が不便なく施設利用できるように維持管理や環境整備が必要である。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	公民館延利用者数(前年度実績1%増)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	874,219	837,774	809,881	788,844	0
実績値	829,479	801,862	781,034		
達成度	94.9%	95.7%	96.4%		
② 成果指標(指標名)	公民館利用件数(前年度実績1%増)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	63,304	66,015	63,718	74,867	0
実績値	65,361	63,087	68,061		
達成度	103.2%	95.6%	106.8%		

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	260,595	277,344	262,872	254,050		
	国・県					
	利用者負担金					
	その他					
	一般財源	260,595	277,344	262,872	254,050	
② 人件費(千円)	14,589	14,669	14,855			
	人工	人工	人工	人工	人工	人工
	正規	4,614	4,554	4,530		
	嘱託	9,975	10,115	10,325		
		0.6	0.6	0.6		
		3.5	3.5	3.5		
合計コスト①+②	275,184	292,013	277,727	254,050		
前年度比	—	106.1%	95.1%	—		

事務事業評価票

事務事業名	地区公民館整備事業
-------	-----------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	地区公民館整備事業費

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます	
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち	主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実		
基本施策(個別目標)	622	社会教育環境の整備	5つの重点目標	5 将来世代のためのハード整備		
—	—	—	—	松本版総合戦略		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
松本市地区公民館における施設・設備の計画的な部分更新・改修、並びに、整理(移転改修・解体)等を実施し、社会教育・住民活動環境を整備・保全することを目指すもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 H24～30 波田公民館移転改修事業 波田公民館を波田支所内に移転し、建物を解体して、駐車場整備を実施
2 H29～ 里山公民館整備事業 新科学館整備事業に伴い、里山根公民館の移転新築するための用地測量等を実施
2 H30 内田公民館駐車場整備工事 住民要望により、未舗装であった内田公民館北市有地を、内田公民館駐車場として整備を実施
3 H31 寿公民館トイレ改修工事 住民要望により、バリアフリー化が不十分で、使い勝手の悪いトイレを全面的に改修するもの

＜現状に対する認識＞

波田公民館移転改修事業は、駐車場整備工事の竣工によりすべての内容を実施した。また、住民要望により内田公民館駐車場整備工事を実施した。平成30年度は予定した事業内容を完遂している。平成31年度は、寿公民館トイレ改修工事を完遂することを目指す。 里山公民館整備事業は、令和4年度の開館にむけて、用地取得等に取り組む。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事業進捗率(目標:実施計画にて予定した事業件数、実績:実施件数)				
指標の設定理由	整備の必要性和実績の把握				
目標値	1	1	2	1	
実績値	1	1	3		
達成度	100.0%	100.0%	150.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	159,440	201,710	43,350	15,190						
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	159,440	201,710	43,350	15,190						
② 人件費(千円)	3,076	人工	3,036	人工	3,020	人工	0	人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,020	0.4				
嘱託	0	0	0	0	0	0				
合計コスト①+②	162,516	204,746	46,370	15,190						
前年度比	—	126.0%	22.6%	—						

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	地区公民館大規模改修事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	622	社会教育環境の整備
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	○	学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	地区公民館大規模改修事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

地区公民館整備方針に基づき、大規模改修、備品更新等を実施し、計画的な施設改修、設備更新等を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 事業開始年次より、計画的な施設改修・設備更新等を実施し、地域活動、社会教育活動等における拠点としての公民館の機能維持、ユニバーサルデザイン導入その他に裨益している。
- 下記の3要素を事業の主目標として、実施各館で実現している。
 - 施設の耐久性確保・機能維持 …… 屋根、外壁、内装の改修等
 - ユニバーサルデザイン導入 …… エレベーター設置、トイレ改修等
 - エコ改修 …… 太陽光発電設備の設置、サッシ複層化等
- 平成30年度までの実績
 - 大規模改修 9件を実施(入山辺、安曇、梓川、神林、鎌田地区、今井、内田、笹賀、和田)
 - 暖房器具設備更新 8件を実施
※陀陰謀器具設備更新は平成31年度以降、地区公民館整備事業に移行
- 平成30年度の実績
 - 大規模改修工事 1件(和田)
 - その他 大規模改修に伴う備品更新、施設環境調査等
 - 暖房器具設備更新 5件(大手、島立、芳川、寿台、岡田)
- 令和元・2年度の予定
個別施設計画の策定
- 令和3年度以降
個別施設計画を反映した見直し計画の実施(計画再開)

<現状に対する認識>

年度毎1件の大規模改修、複数件の備品更新・設備更新等を実施しており、今後も同水準以上を継続する必要がある。
実施計画47号より、松本市公共施設等総合管理計画に基づいて長寿命化計画を導入し、平成30年度より一部実施を予定している。令和2年度中に、松本市公共施設等総合管理計画・松本市公共施設再配置計画にもとづき、個別施設計画を策定し、以後も本事業を継続することが課題となる。

<指標の達成状況>

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	地区公民館の大規模改修実施件数				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	7	8	9		
実績値	7	8	9		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)	個別施設計画の策定				
指標の設定理由	公共施設等総合管理計画に適合する大規模改修につなげるための策定進捗率				
目標値				30	100
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	117,670		191,167		168,390		0			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	117,670		191,167		168,390					
② 人件費(千円)	4,076	人工	4,023	人工	4,002	人工		人工		人工
正規	4,076	0.53	4,023	0.53	4,002	0.53				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	121,746		195,190		172,392		0			
前年度比	—		160.3%		88.3%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	成人式開催事業
-------	---------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	234	青少年の健全育成
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実	
5つの重点目標	2 次世代を育むまちづくり	
松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	成人式開催事業

<事業の狙い>

事業計画年度

～

二十歳という人生の節目を迎えた新成人をお祝いし、大人としての責任と自覚を促すとともに、今後の活躍を期待して成人式を開催するもの(S23～開催)

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 日時
平成31年1月13日(日)13:00 開式
- 会場
松本市総合体育館 メインアリーナ
- 主催
松本市、松本市教育委員会
- 企画運営
松本市成人式実行委員会(新成人 12名)
- 内容
主催者式辞、来賓祝辞、新成人の抱負、記念品贈呈、企画映像放映
- 新成人対象者
2,328人(うち、出席者1,860人 出席率79.9% 前年度79.2%)
- その他
式典終了後、卒業中学校単位で記念撮影

<現状に対する認識>

新成人で構成する成人式実行委員会が主体となって、式典の企画運営を行っており、引き続き、厳粛で思い深い式典の開催に努める。
記念写真の撮影セットを3か所から4か所に増設し、時間短縮を図った。今後もスムーズな運営に努める。松本市のまちづくり、松本市の暮らしの魅力を紹介するパネルを展示し、若者の地元定着、Uターンを促進しました。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	成人式出席率				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	80%	80%	80%	80%	80%
実績値	79.20%	79.20%	79.90%		
達成度	99.0%	99.0%	99.9%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	3,761		4,256		4,760		5,580			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	3,761		4,256		4,760		5,580			
② 人件費(千円)	2,307	人工	4,373	人工	4,365	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	3,795	0.5	3,775	0.5				
嘱託	0		578	0.2	590	0.2				
合計コスト①+②	6,068		8,629		9,125		5,580			
前年度比	—		142.2%		105.7%		—			

事務事業評価票

事務事業名	コミュニティスクール事業
-------	--------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	コミュニティスクール事業費

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	1	健康とさえずなづくり
—	—	—		松本版総合戦略	⑤

＜事業の狙い＞	事業計画年度	2018～
<p>・学校と地域が連携・協働しながら、地域づくりを進める。 ・身近な大人に見守られて安心して豊かな感性や感受性を育み、地域の特性を生かした様々な体験を積み重ねることで、変化の激しい予測しにくいこれからの時代をたくましく生き抜いていく子どもたちを育成し、将来の担い手育成に繋げる</p>		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
<p>1 内容 子どもたちを地域全体で見守り育てる「地域とともにある学校」「地域に開かれた学校」をつくることを目指して、地区公民館が学校と地域を結ぶコーディネート役となり、学校運営委員会等の中で、地域全体で子どもを育てる意識向上を図り、地域の中でしか体験できないことを学ぶ貴重な機会として、次世代の担い手となるべく地域への帰属意識を醸成するような事業を進める。(学校運営委員会市内全43に設置)</p> <p>2 30年度実績 学校運営委員会で事業内容を協議し、全市内小中学校において事業を展開する。</p> <p>(1) 学習・部活動 食育・環境・郷土学習、読み聞かせの実践、学習支援他</p> <p>(2) 学校行事参画 運動会や音楽会等の学校行事の参画、キャンプ・登山、まち探検等の行事同行 他</p> <p>(3) キャリア教育 職業体験学習、農業体験学習、公民館お泊り体験、中学生と語る会 他</p> <p>(4) 地域ボランティアへの参画 福祉施設訪問、地域清掃活動、高齢者のゴミ捨て支援、里山保全活動 他</p>

＜現状に対する認識＞
<p>学校運営委員の中で、前年度までの、学校の授業や課外活動等を支援する学校サポート事業の延長であるという意識が根強い。 松本版コミュニティスクールを推進する事業(研修等)を行い、理念や方向性を市民や公民館職員・教職員等で共有することにより、地域の学校や大人と子どもが協働し、一緒に関わる事業を展開する。</p>

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	実施運営委員会数				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値			43	43	43
実績値			43		
達成度			100.0%		
② 成果指標(指標名)	実施回数				
指標の設定理由	実施運営委員会数は、今後も全会達成予定のため、指標を追加した。				
目標値				600	
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	国・県	0	0	3,043	3,700	
	利用者負担金					
	その他					
	一般財源	0	0	3,043	3,700	
② 人件費(千円)	正規	0	0	36,750	36,750	36,750
	嘱託	0	0	10,325	10,325	10,325
	人工	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	0	0	39,793	39,700	39,700	
前年度比	—	—	—	—	—	

事務事業評価票

事務事業名	多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業
-------	--------------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	町内公民館振興事業費

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み	○地域づくりの担い手の育成		
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり		

<事業の狙い>

事業計画年度

30~32

- ・地域づくりの基盤となる町会単位の住民の絆づくりを進める。
- ・超少子高齢化社会の中、町会単位で楽しく生き残るコミュニティづくり。
- ・子どもから高齢者まで多世代が交流できるコミュニティを創生する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 内容	松本市と東京大学大学院の牧野篤教授の研究室との共同事業として、町会単位で円滑な人間関係を構築し、町内公民館を活用して、子どもから高齢者まで様々な人々が集い、気軽に、共に楽しく学び、生きていく場として、「多世代参画型地域共生コミュニティ」の構築を目指す。 来年度からは、市街地や中山間地の中から、3町会程度をモデル町会として選出し、町内公民館の可能性を探りながら、新しい地域社会の在り方を、住民の一番身近な町会単位から考え、実践し、「松本モデル」として発信していく。
2 30年度実績	市内20地区を訪問し、56町会からヒアリングを行い、松本市の地域づくりの現状や課題、町会の実態や悩みなどを聞き、松本市の特徴や地域づくりシステムの現状、課題等を把握した。
3 松本市の特徴や課題	(1) 公民館や福祉ひろばを基本とした松本らしい地域づくりが特徴 (2) 町内公民館が、一番身近な町会単位で設置されている。 (3) 町会や地区で行われている活動の疲弊化やマンネリ化

<現状に対する認識>

- ・超少子高齢化や無関心による地域の担い手不足が深刻化している。
- ・地域役員等を中心に地域活動に対して「やらされ感」「つまらない」と感じる住民が多く存在している。
- ・家庭や地域で大人と交流する子どもが減り、地域への愛着や自己肯定感が低下している。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	調査実施地区数(地区)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値			20		
実績値			20		
達成度			100.0%		
② 成果指標(指標名)	事業実施町会数				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値				3	3
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
① 事業費(千円)	0	0	1,540	1,580				
国・県								
利用者負担金								
その他								
一般財源	0	0	1,540	1,580				
② 人件費(千円)	0	人工	0	人工	36,750	人工	人工	人工
正規	0		0		26,425	3.5		
嘱託	0		0		10,325	3.5		
合計コスト①+②	0	0	38,290	1,580				
前年度比	—	—	—	—				

中央図書館

館長 瀧澤 裕子

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	中央図書館	課CD	13230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	図書館資料整備事業
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	図書館資料整備事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実	
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<事業の狙い>

事業計画年度

～

地域づくりや生涯学習の情報拠点としての役割を果たすため、地域資料や学習のための資料等、利用者が必要とする図書館資料を収集し提供するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業の実施内容

- 図書館資料の購入(中央図書館及び分館10館)
- 寄贈本、収集した地域資料等の装備、登録
- 蔵書の有効的利用を図るための分館からの移管や除籍

2 平成30年度の実績

- 資料整備(雑誌、視聴覚資料等を含む)
 - 購入 48,905冊
 - 寄贈等 2,493冊
 - 年度末蔵書数 1,249,146冊
- 貸出冊数
 - 個人貸出 1,524,168冊
 - 団体貸出 58団体 25,682冊

【参考】登録者数関係

- 登録者数 126,439人(前年比4,350人)
- うち、市内登録者数 111,945人
(市民の登録率46.9%、前年比+1.8%)
- 松本市人口 238,647人(平成31年4月1日現在)

<現状に対する認識>

蔵書冊数は、前年度の1,237,687冊から11,459冊(0.9%)増加。
個人貸出数は、前年度の1,570,780冊から46,612冊(3.0%)減少。
登録者数は増加しているものの、市民1人当たりの図書館貸出数が減少傾向にあり、対策を検討する必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	市民1人当たりの図書館蔵書数				
指標の設定理由	図書館サービスの基本である「住民の求める資料の充実」に係る指標				
目標値	5.2	5.3	5.4	5.5	5.6
実績値	5.1	5.2	5.2		
達成度	98.1%	98.1%	96.3%		
② 成果指標(指標名)	市民1人当たりの図書館貸出冊数				
指標の設定理由	住民の図書館利用度を示す指標				
目標値	7.1	7.1	7.2	7.3	7.4
実績値	6.7	6.6	6.4		
達成度	94.4%	93.0%	88.9%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	93,790		94,524		93,617		91,510			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	93,790		94,524		93,617		91,510			
② 人件費(千円)	32,910	人工	33,105	人工	32,910	人工		人工		人工
正規	11,535	1.5	11,385	1.5	11,535	1.5				
嘱託	21,375	7.5	21,720	7.5	21,375	7.5				
合計コスト①+②	126,700		127,629		126,527		91,510			
前年度比	—		100.7%		99.1%		—			

文化財課

課長 大竹 永明

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	エリ穴遺跡遺物整理・報告書刊行事業
-------	-------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	エリ穴遺跡調査報告書刊行事業

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<事業の狙い>

事業計画年度 25 ~ 30

エリ穴遺跡の出土品の整理作業を行い、発掘調査報告書を刊行する。出土品は重要文化財級の価値を有すると指摘されており、報告書刊行後は、まず市文化財及び県宝の指定を受け、続いて松本市として初となる出土品一括の国重要文化財指定を目指す。指定により当市の文化資産としての価値を高め、市民の学習意欲を促進する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 発掘調査に伴う遺構図類・出土遺物の整理事業
 - 膨大な量の遺構図類・出土遺物の整理を効率的に実施した。
 - 平成28年度に遺構図類・出土遺物の整理を完了した。
- 調査報告書の刊行事業
 - 全4冊からなる発掘調査報告書を刊行する。
 - 平成28年度に第1分冊、平成29年度に第2・3分冊を刊行した。平成30年度に最終の第4分冊を刊行した。
 - 刊行により、出土品の学術的な価値付けと詳細な成果を公表した。
- 報告書刊行以降(令和元年度以降)
 - エリ穴遺跡文化財指定事業

出土品は、平成31年1月、松本市重要文化財に指定された。令和元年度は、県教育委員会や県文化財保護審議会の指導を受けながら、年度内の県宝指定を目指す取り組みを進める。

<現状に対する認識>

平成30年度の刊行した第4分冊は、エリ穴遺跡全体の評価と考察を掲載するため、国重要文化財指定に資する内容が求められていた。効率的に作業を進め、計画どおりに刊行し、本事業は完了した。本事業の完了に続いて、エリ穴遺跡文化財指定事業を進め、松本市としては初となる出土品の国重要文化財指定を目指す。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	調査報告書の進捗状況(事業費ベース)				
指標の設定理由					
目標値	77.0	89.0	100.0		
実績値	77	89	100		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	5,730		4,140		3,680		0			
国・県	2,870		2,070		1,060					
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,860		2,070		2,620					
② 人件費(千円)	21,080	人工	20,972	人工	21,080	人工		人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2	15,380	2				
嘱託	5,700	2	5,792	2	5,700	2				
合計コスト①+②	26,810		25,112		24,760		0			
前年度比	—		93.7%		98.6%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	歴史文化基本構想策定事業
-------	--------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	歴史文化基本構想策定事業

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<事業の狙い>

事業計画年度

25～30

地域の文化財をその周辺環境まで含め総合的に保存・活用していくための計画を策定します。市内の文化財を指定の有無にかかわらず調査し、関連文化財群として把握することで、今後、歴史文化を生かしたまちづくりを進めていくためのマスタープランとなるもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 文化財悉皆調査及び関連文化財群の設定(平成28年度まで)
 - 平成25年から市内35地区で未指定を含めた文化財調査を実施した。
 - 調査成果を先行の文化財調査を含めて整理し、平成27年度までに「関連文化財群」を設定した。
 - 平成28年度に、設定された関連文化財群を更に整理・統合した。
- 構想の策定(平成29年度)
 - 3回の関連文化財群設定委員会等で検討し、構想を策定した。
 - 構想はパブリックコメントを実施し市民の意見を反映させた。
 - 関連文化財群紹介ハンドブックを作成して地区公民館、関係者に配布した。
- 市民への周知、シンポジウム・報告会の開催
 - 平成29年度に4回目の市民向け報告会を開催した。
 - 平成30年度は歴史文化基本構想の周知を目的としたシンポジウムを開催した。
- 構想に基づく具体的施策の検討と実施
 - 平成30年度に「まつもと文化遺産保存活用協議会」を設置し、歴史文化基本構想に基づく活用事業等を検討するとともに、「まつもと文化遺産」2件の認定を行った。
 - 歴史文化基本構想を基に、「松本市文化財保存活用地域計画」を策定した。
 - 国指定文化財で適用されている固定資産税の軽減措置を、県・市指定文化財にも広げ、文化財所有者の負担軽減を図ることとした。

<現状に対する認識>

- 各地域の文化財を網羅し、住民の意見を反映させた基本構想を策定した。
- 地域主体で文化財調査を行なったことで、調査成果の活用する動きと文化財を地域で保護する気運が高まりつつある。
- 構想策定以降は、関連文化財群の市民への周知と、構想に基づく具体的保存活用の方策を検討する必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由	構想策定のため目標値設定は不適當				
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	890		963		2,294		0			
国・県	838		917		2,041					
利用者負担金										
その他										
一般財源	52		46		253					
② 人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,690	人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,690	1				
嘱託	0	0	0		0					
合計コスト①+②	8,580		8,553		9,984		0			
前年度比	—		99.7%		116.7%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	小笠原氏城館群史跡整備事業Ⅰ
-------	----------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	小笠原氏城館群史跡整備事業

<事業の狙い>

事業計画年度	25 ~ 3
--------	--------

井川城跡と林城跡(大城・小城)について、国史跡指定を進め「小笠原氏城跡」として一体的な保存・活用を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

【事業内容】	
1	3城跡の国史跡指定に向けた調査・報告書刊行 井川城跡の発掘調査、林城跡(大城・小城)の縄張調査、文献史料調査、調査報告書の刊行
2	3城跡の国史跡指定手続き 指定範囲の確定、周知、土地所有者の同意取得、意見具申書の提出(答申～指定)
3	普及公開事業の推進 調査成果公開、史跡活用講座、指定記念事業、山城サミット協議会加盟
4	保存活用計画策定 史跡の現状把握と将来的な保存・管理・活用方針の策定
【事業の進捗状況と事業費累計】	
H25	指定に向けての調査開始 11, 160千円
H26	指定に向けての調査完了 31, 480千円
H27	指定対象の価値付け 37, 030千円
H28	具申～指定(井川城跡・林大城) 42, 640千円
H29	追加指定に向けての調査(小城) 110, 780千円
H30	追加指定(林小城) 6, 990千円
R元	指定記念普及公開事業 3, 990千円
R2	保存活用計画策定(1年目) 9, 860千円
R3	保存活用計画策定(2年目・完了) 13, 310千円

<現状に対する認識>

平成31年2月の林小城追加指定により計画どおり3城跡すべてが指定となったが、井川城跡は計画範囲の60%にとどまっているため、継続的に追加指定に取り組む必要があります。また、史跡指定地の用地取得についても、引き続き取り組みます

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
5つの重点目標	5つの重点目標	
松本版総合戦略	松本版総合戦略	

<指標の達成状況>

総合評価	B
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	用地取得を除く事業の進捗率(事業費ベース、%)				
指標の設定理由	事業が多岐にわたり事業費でしか指標を示せない。				
目標値	67	77	89	92.0	95.0
実績値	67	77	89		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)	全体事業の進捗率(事業費ベース、%)				
指標の設定理由	事業が多岐にわたり事業費でしか指標を示せない。				
目標値	9	61	93	95	98
実績値	9	61	63		
達成度	100.0%	100.0%	67.7%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	5,607		110,780		6,990		6,220			
国・県	1,225		84,900				2,190			
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,382		25,880		6,990		4,030			
② 人件費(千円)	11,965	人工	13,390	人工	13,390	人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,690	1	7,690	1				
嘱託	4,275	1.5	5,700	2	5,700	2				
合計コスト①+②	17,572		124,170		20,380		6,220			
前年度比	—		706.6%		16.4%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	殿村遺跡史跡整備事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	殿村遺跡史跡整備事業

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<事業の狙い>

事業計画年度 22 ~ 元

現地保存が決まった殿村遺跡について、史跡指定を視野に将来的な整備・活用を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

【事業内容】

- 殿村遺跡発掘調査
計画的な範囲・内容確認調査による遺跡範囲(将来的な史跡範囲)の把握、調査報告書の毎年刊行
- 虚空蔵山麓の総合調査
周辺の寺院や信仰関連資料調査による一体の信仰空間の把握、虚空蔵山城跡ほか周辺の城館遺跡の把握、地質・植生等の景観調査
- 普及公開事業の推進
調査成果の公開と講座講演会の開催

【事業内容と進捗度(事業費ベース・累計)】

H22	第2次調査ほか	22,570千円
H23	第3次調査ほか	52,120千円
H24	第4次調査ほか	74,100千円
H25	第5次調査ほか	93,110千円
H26	第6次調査ほか	101,290千円
H27	第7次調査ほか	109,880千円
H28	第8次調査ほか	136,470千円
H29	第9次調査ほか	147,650千円
H30	追加調査・総括	12,030千円
R元	総合報告書刊行	7,010千円

<現状に対する認識>

計画に従い2年間を予定する成果のとりまとめ、総括、報告書作成に向け、1年目の整理作業を実施し、遺跡の評価に係る骨子と報告書構成の原案を作成した。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事業全体の進捗率(事業費ベース、%)				
指標の設定理由	事業内容が多岐にわたるため事業費ベースでしか進捗を示せない。				
目標値	85	97	99	100	
実績値	85	97	99		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	23,539		16,540		12,030		7,010			
国・県	17,752		13,540		5,220		1,690			
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,787		3,000		6,810		5,320			
② 人件費(千円)	11,965.0	人工	10,540	人工	10,540	人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,690	1	7,690	1				
嘱託	4,275	1.5	2,850	1	2,850	1				
合計コスト①+②	35,504		27,080		22,570		7,012			
前年度比	—		76.3%		83.3%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存活用計画策定事業
-------	--------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	市長公約	主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	白骨温泉噴湯丘等保存管理事業

<事業の狙い>

事業計画年度

27 ~ 元

国特別天然記念物である「白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石」の保存と適切な活用を図るため、現状を把握し、保存活用計画を策定するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 実施済みのもの

(1) 現状把握

- ア 詳細地形測量(27年度)
- イ 噴湯丘と球状石灰石 分布調査(28~29年度)
- ウ 学術調査(28年度:植物、29年度:地質、鉱物、微生物、温泉水等)
- エ 文献調査(28~29年度)
- オ 噴湯丘詳細調査(30年度)

(2) 文化庁協議(30年度)

保存活用計画(案)及び指定範囲見直し(案)を文化庁へ提出し、元年度の計画策定及び文化財指定範囲変更に向けて、下調整を実施

2 今後実施するもの(令和元年度)

(1) 文化財指定範囲の変更

調査結果に基づき指定範囲を見直し、変更に向けて文化庁に意見具申を行う。

(2) 保存活用計画の策定

現状変更基準や活用の方向性などについて、関係者間の合意形成を図りながら、保存活用計画を策定する。

(3) 用地買上げ準備(国庫補助対象外)

買上げが指定の同意条件となっている民有地2筆について、令和2年度の購入に向けて、用地測量、補償算定、不動産鑑定を行う。

<現状に対する認識>

- 1 分布調査の結果、石灰華の堆積厚は30mにも及ぶ国内有数の規模であり、本文化財の本質的価値を成すことが明らかになった。
- 2 これら石灰華の分布域は、当初の指定範囲と一致しておらず、指定範囲の見直しが必要である。
- 3 石灰華のほか、地形・地質・動植物・歴史などを含めた白骨温泉の文化的な価値を再評価し、広く発信する必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	計画策定のため目標値の設定は不適当				
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)	計画策定のため目標値の設定は不適当				
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)	7,406	6,344	3,741	6,640		
国・県	3,924	3,361	1,982	1,420		
利用者負担金						
その他						
一般財源	3,482	2,983	1,759	5,220		
② 人件費(千円)	5383	人工 7690	人工 8459	人工	人工	
正規	5383	0.7	7690	1	8459	1.1
嘱託	0	0	0			
合計コスト①+②	12,789	14,034	12,200	6,640		
前年度比	—	109.7%	86.9%	—		

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	文化財保存管理事業
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	文化財保存管理費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民に守られてきた文化財を後世に伝えるため、文化財の指定・登録等を進め、整備や修理などの維持管理を行い、文化財所有者への支援を行うことで、文化財の保存と活用を推進するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 文化財の指定・登録

(1) 指定等のための調査
平成30年度は文化財審議委員会等において20件の文化財調査・検討を実施。

(2) 平成30年度新規指定等件数
市指定文化財 2件 (29年度 3件)
国登録文化財 1件 (29年度 2件)
平成31年3月31日現在の指定等文化財件数 337件 (国81・県35・市21)

2 指定等文化財の保存管理

(1) 市所有指定等文化財の保存管理 ※1
平成29年度 戸田家廟園内陣保存整備、弘法山古墳環境整備、穴沢のクジラ化石保存整備等
平成30年度 戸田家廟園内陣保存整備、穴沢のクジラ化石保存整備、源智の井戸環境整備等

(2) 文化財保存活用事業への補助
平成29年度補助対象事業 25件
平成30年度補助対象事業 19件

※1 小笠原氏城館群史跡整備、白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存活用計画策定を除く。

<現状に対する認識>

1 豊かな自然と長い歴史から本市には多くの文化財が継承されてきたが、社会環境の変化で文化財を取り巻く環境は厳しさを増している。

2 文化財の適切・計画的な保存管理を行うとともに、更なる文化財指定と、所有者の文化財保護活動に対する支援を充実させる必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	市内の指定・登録等文化財件数				
指標の設定理由	文化財の指定等は所有者による保存と行政からの支援につながるため				
目標値	335	340	345	350	360
実績値	333	336	337		
達成度	99.4%	98.8%	97.7%		
② 成果指標(指標名)	市内の指定・登録等文化財件数(新規指定・登録件数)				
指標の設定理由	解除件数を除くことで新規指定等件数が明確になるため				
目標値	335	340	345	350	360
実績値	334	339	343		
達成度	99.7%	99.7%	99.4%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	29,169		17,395		47,999		22,290			
国・県							2,020			
利用者負担金										
その他										
一般財源	29,169		17,395		47,999		20,270			
② 人件費(千円)	20,080	人工	22,121	人工	22,387	人工		人工		人工
正規	19,225	2.5	21,252	2.8	21,532	2.8				
嘱託	855	0.3	869	0.3	855	0.3				
合計コスト①+②	49,249		39,516		70,386		22,290			
前年度比	—		80.2%		178.1%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	埋蔵文化財保護事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	埋蔵文化財保護事業

<事業の狙い>

事業計画年度

～

文化財保護法に基づき、主として開発事業により破壊される遺跡の発掘調査を行い、記録保存するとともに、郷土の歴史・文化施設として活用し、郷土に誇りや愛着の持てるような地域づくりに貢献する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 開発事業に伴う窓口照会事業
開発に伴う照会に対し、遺跡に該当するかどうかを回答
(H30年度の照会件数は、1,893件)
- 2 試掘調査事業
遺跡該当の開発事業に伴い、分布・範囲の確認を目的とする試掘調査と立会調査を実施
(H30の試掘件数は54件、立会件数は268件)
- 3 記録保存のための発掘調査事業
受託事業、市単独事業に伴う発掘調査を実施
また、遺構図類・遺物の整理作業を実施し、発掘調査報告書を刊行
(H30年度の発掘件数は受託3件、市単6件の計9件、整理作業件数は受託3件、市単3件の計6件)
- 4 普及公開事業
市民公開の機会として講座・現地見学会を開催
(H30年度、24件の講座・現地見学会を開催し、延参加者数は1,782人)
※1回あたり74人の参加があり、50人の目標設定値を48ポイント上回った。

<現状に対する認識>

市内には多くの遺跡がある。近年は大規模調査に加え、都市計画道路内環状北線に関わる発掘調査が本格化している。限られた経費と期間内で最大の成果を上げられるよう、調査技術の継承を含め、職員の資質向上を図る必要がある。成果を積極的に市民公開し、郷土の歴史・文化への関心が高まるよう努力が必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由	開発事業量に左右される業務のため、目標値設定は困難				
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	82,020		70,960		79,950		93,070			
国・県	900				0					
利用者負担金	43,280		37,170		20,660		12,030			
その他										
一般財源	37,840		33,790		59,290		81,040			
② 人件費(千円)	68,940	人工	68,708	人工	68,940	人工		人工		人工
正規	46,140	6	45,540	6	46,140	6				
嘱託	22,800	8	23,168	8	22,800	8				
合計コスト①+②	150,960		139,668		148,890		93,070			
前年度比	—		92.5%		106.6%		—			

松本城管理事務所

所長 手島 学

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	危機管理防災対応事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	危機管理防災対応事業費

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

諸災害の発生に備え観光客や市民の安全を確保するとともに、災害時の文化財松本城の被害軽減に取り組むもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 保守点検 防災ネットワーク保守点検、電気設備点検

<現状に対する認識>

機器の保守により、非常時でも機能するようできた。

<指標の達成状況>

	総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	点検の実施回数				
指標の設定理由	危機管理対策を把握するため				
目標値	1	1	1	1	1
実績値	1	1	1		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,568		921		921		950			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源(松本城特会)	1,568		921		921		950			
② 人件費(千円)	2,307	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	759	0.1	755	0.1				
嘱託										
合計コスト①+②	3,875		1,680		1,676		950			
前年度比	—		43.4%		99.8%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	国庫補助松本城史跡整備事業
-------	---------------

<予算上の位置付け>

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	国庫補助松本城史跡整備事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

史跡松本城の保護と安全性の確保を図るため、崩落のおそれのある石垣を修理するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 史跡松本城(本丸北外堀南面石垣)保存整備事業
 平成29年度に引き続き、本丸北裏門東側門台石垣の解体・積直し修理工事を実施。
 工事にあたっては、昨年度、石垣内部でことから、盛土の保護を図るため、整備方針を変更。

<現状に対する認識>

令和元年度も引き続き、積直し工事に取り組みます。文化財修理事業として適切な工事となるよう、文化庁及び有識者の助言を得ながら進めます。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	危険度Aの石垣修理の進捗率				
指標の設定理由	石垣修理の進捗率を把握するため				
目標値	20	21	23	24	26
実績値	20	21	23		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	3,221		15,610		127		29,680			
国・県			8,010		64		15,720			
利用者負担金										
その他										
一般財源(松本城特会)	3,221		7,600		63		13,960			
② 人件費(千円)	6,152	人工	4,554	人工	4,614	人工		人工		人工
正規	6,152	0.8	4,554	0.6	4,614	0.6				
嘱託										
合計コスト①+②	9,373		20,164		4,741		29,680			
前年度比	—		215.1%		23.5%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	単独松本城史跡整備事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	単独松本城史跡整備事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

<事業の狙い>

事業計画年度

H14 ~

史跡松本城の保護と安全性の確保を図るため、定期的に石垣の動態を観測し、崩落の危険性を把握するもの。
また、黒門と太鼓門の耐震診断を実施し、今後、診断結果に応じた適切な対応を取ることで、地震時等の安全を確保するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 石垣動態観測業務委託事業
平成25年に定めた観測点について、年1回、測量を行い、動態状況を把握。
- 松本城黒門・太鼓門耐震診断
黒門と太鼓門の耐震診断を実施。
- 東総堀史跡指定地整備事業
東総堀史跡指定地について、用地測量等を実施。

<現状に対する認識>

石垣修理事業完了までは、今後も動態観測を継続する必要がある。
黒門・太鼓門は来場者の通路であることから、耐震診断を行い耐震診断結果等を踏まえ、根本修理を行う必要がある。
東総堀史跡指定地は、現在、未整備のため、整備を行う必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	年間の動態観測実施回数				
指標の設定理由	動態観測を実施し石垣の状況を監視するため				
目標値	1	1	1	1	1
実績値	1	1	1		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	399		81,372		12,553		4,740			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源(松本城特会)	399		81,372		12,181		4,740			
② 人件費(千円)	2,307	人工	3,795	人工	3,845	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	3,795	0.5	3,845	0.5				
嘱託										
合計コスト①+②	2,706		85,167		16,398		4,740			
前年度比	—		3147.3%		19.3%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	松本城歴史資料保存事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	松本城歴史資料保存事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

<事業の狙い>

事業計画年度

～

松本城や松本藩関連の歴史資料を収集・保存し、今後の調査研究に活用するため

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 資料収集
徳川林政史研究所所蔵の松本藩主戸田家に関する古文書の複写、寄附受入れ等により松本城や松本藩に関する資料を収集し、調査研究を実施。
- 日常管理
古文書の中性紙封筒への収納による劣化防止、既存資料の目録作成等の日常管理を行い、所蔵する歴史資料の適切な保存管理を図る。

<現状に対する認識>

松本城や松本藩に関する歴史資料の収集及び保存を行い、その調査研究を着実に進めるとともに、その成果の天守・史跡整備への活用、市民への周知等に取り組む必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	徳川林政史研究所所蔵の資料複写依頼回数				
指標の設定理由	資料収集の進捗状況を把握するため				
目標値	1	1	1	1	1
実績値	1	1	1		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	619		623		677		790			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源(松本城特会)	619		623		677		790			
② 人件費(千円)	10,847	人工	11,136	人工	9,425	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,307	0.3				
嘱託	0	0	0	0	0	0				
研究専門員	8540	2.8	8859.2	2.8	7117.6	2.8				
合計コスト①+②	11,466		11,759		10,102		790			
前年度比	—		102.6%		85.9%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	国宝松本城天守耐震対策事業
-------	---------------

<予算上の位置付け>

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	国宝松本城天守耐震対策事業

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

H29 ~

平成26~28年度の3年間で実施した松本城天守耐震診断の結果をもとに、天守の耐震補強内容の検討を行うと共に、天守建物と石垣との一体的な耐震対策に取り組みます。
あわせて防災整備の見直し、避難誘導計画の立案、展示の見直しを行うものです。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 国宝松本城天守耐震対策専門委員会の開催
有識者により、耐震対策について検討
- 2 国宝松本城天守耐震対策基本計画策定業務委託
業務委託により、耐震対策基本計画に向けた検討を実施
31年度も引き続き検討を行う
- 3 天守石垣破損状況調査業務委託
石垣の耐震対策のため、天守石垣の現状の破損状況を調査

<現状に対する認識>

耐震補強工事をはじめとした耐震対策基本計画を策定していますが、石垣の内部構造の調査等、策定にあたり更なる調査と検討が必要であると判断し、31年度以降も検討を継続することとしました。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	国宝松本城天守耐震対策専門委員会の開催回数				
指標の設定理由	耐震補強工事の進捗状況を把握するため				
目標値	-	2	3	2	2
実績値	-	2	1		
達成度	-	100.0%	33.3%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)		6,968	4,609	23,980	
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源(松本城特会)		6,968	4,594	23,980	
② 人件費(千円)		人工 6,072	人工 6,152	人工	人工
正規		6,072	0.8	6,152	0.8
嘱託					
合計コスト①+②	0	13,040	10,761	23,980	
前年度比	-	-	82.5%	-	

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	国庫補助南・西外堀復元事業
-------	---------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	国庫補助南・西外堀復元事業費

<事業の狙い>

事業計画年度 H23 ~ H36

「松本城およびその周辺整備計画」及び、「松本市歴史的風致維持向上計画」に基づき、文化財保護と歴史的景観の維持向上を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 松本城南・西外堀復元事業
(1) 用地取得及び条件整備 事業用地の取得(平成30年度までの事業用地取得率 56%)
(2) 復元に向けた試掘調査 試掘箇所:南・西外堀二の丸側
2 事業方針の見直し 平成29年度に事業用地内で実施した土壌汚染調査の結果、「鉛及びその化合物」による土壌汚染が確認されたため、堀復元から平面整備に事業方針を変更

<現状に対する認識>

平成36年度整備完了予定
南・西外堀は、昭和初期までに埋め立てられて現在に至っており、遺構の保護が図られていない。松本城天守を南側及び西側から望むことができず、歴史的景観の向上を図る必要がある。事業方針の変更に伴う、平面整備の詳細な方法は今後検討する。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事業の進捗率				
指標の設定理由	事業の進捗率を把握するため				
目標値	33	37	42	51	67
実績値	33	37	42		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	141,787		133,434		185,634		169,470			
国・県	113,429		104,917		148,507		135,580			
利用者負担金										
その他(起債・松本城施設整備基金)	28,358		28,517		37,127		33,890			
一般財源										
② 人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,307	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,307	0.3				
嘱託										
合計コスト①+②	144,094		135,711		187,941		169,470			
前年度比	—		94.2%		138.5%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	単独南・西外堀復元事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独南・西外堀復元事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<事業の狙い>

事業計画年度 H23 ~ H36

「松本城およびその周辺整備計画」及び、「松本市歴史的風致維持向上計画」に基づき、文化財保護と歴史的景観の維持向上を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 松本城南・西外堀復元事業 補償算定等委託業務
買収後事業用地管理業務
代替地購入及び整備業務
2 事業方針の見直し 平成29年度に事業用地内で実施した土壌汚染調査の結果、「鉛及びその化合物」による土壌汚染が確認されたため、堀復元から平面整備に事業方針を変更

<現状に対する認識>

平成36年度整備完了予定
南・西外堀は、昭和初期までに埋め立てられて現在に至っており、遺構の保護が図られていない。松本城天守を南側及び西側から望むことができず、歴史的景観の向上を図る必要がある。事業方針の変更に伴う、平面整備の詳細な方法は今後検討する。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事業の進捗率				
指標の設定理由	事業の進捗率を把握するため				
目標値	33	37	42	51	67
実績値	33	37	42		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	751		17,862		17,759		15,220			
国・県										
利用者負担金										
その他	751		17,862		17,759		15,220			
一般財源										
② 人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3				
嘱託										
合計コスト①+②	3,058		20,139		20,024		15,220			
前年度比	—		658.6%		99.4%		76.0%			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	事務管理
-------	------

<予算上の位置付け>

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	事務管理費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

文化財の保全管理を図りつつ、観光資源としての観覧者の受け入れを行い、国宝としての適正な管理運営を実施する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 経常の松本城管理運営経費
松本城経費、借上料、備品購入、消費税の支払
- 2 松本城券売業務
松本城入場券の販売及び入場者数の把握(有料、無料)
各種割引券、団体からの観覧料領収書の対応及び各旅行会社からのクーポン処理
- 3 各種保守点検、管理委託業務
松本城の各種保守点検、市営開智駐車場、松本城宿直警備、松本城公園、本丸庭園トイレ清掃、史跡松本城南・西外堀警備等の業務委託

<現状に対する認識>

市営開智駐車場管理、各種保守点検等の締結を行い松本城全体の維持管理を実施した。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	利用率及び利用者数				
指標の設定理由	松本城の来場者の状況を測定できるため				
目標値	900,000	970,000	968,000	920,000	900,000
実績値	990,361	912,587	898,493		
達成度	110.0%	94.1%	92.8%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	106,201		89,018		83,882		84,330			
国・県										
利用者負担金										
その他	9,883		10,300		11,271		11,490			
一般財源(松本城特会)	96,318		78,718		72,611		72,840			
② 人件費(千円)	24,572	人工	24,563	人工	28,455	人工		人工		人工
正規	14,150	1.84	13,966	1.84	19,763	2.57				
嘱託	10,118	3.55	10,281	3.55	8,408	2.95				
研究専門員	305	0.1	316	0.1	284	0.1				
合計コスト①+②	130,773		113,581		112,337		84,330			
前年度比	—		86.9%		98.9%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	天守管理
-------	------

<予算上の位置付け>

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	天守管理費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

- ・国宝松本城天守の公開及び保全管理
- ・松本城天守の耐震診断結果を踏まえた安全対策の強化

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 天守観覧用下足袋購入
天守を観覧する際に靴を入れる袋の購入
- 天守誘導・案内業務委託
松本城天守内清掃、観覧者の誘導、案内、巡回管理を実施
- 天守屋根清掃業務
天守他4棟(乾小天守、渡櫓、辰巳附櫓、月見櫓)の屋根、壁及び石垣に付着する鳩糞の除去及び水洗い業務を実施
- 天守特別清掃
天守内の高所部分等、通常では困難な箇所の清掃を実施
- 天守内の安全対策
松本城天守の耐震診断結果により安全対策を実施
① 耐震診断の結果、「最大規模の地震の場合は倒壊」と判断された乾小天守の公開規制実施
② 避難誘導体制を強化するため天守内に警備、避難誘導員(委託業者)を配置

<現状に対する認識>

多くの市民、観光客が訪れる国宝の天守としての美景を保つことができた。天守内の各階に警備員を配置したことにより、観覧者の情報を無線により警備員全員が共有でき、きめ細やかなおもてなしが可能となった。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	利用率及び利用者数				
指標の設定理由	松本城の来場者の状況を測定できるため				
目標値	900,000	970,000	968,000	920,000	900,000
実績値	990,361	912,587	898,493		
達成度	110.0%	94.1%	92.8%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	19,724		59,437		80,318		82,370			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源(松本城特会)	19,724		59,437		80,318		82,370			
② 人件費(千円)	1,669	人工	1,656	人工	2,208	人工		人工		人工
正規	1,384	0.18	1,366	0.18	1,923	0.25				
嘱託	285	0.1	290	0.1	285	0.1				
合計コスト①+②	21,393		61,093		82,526		82,370			
前年度比	—		285.6%		135.1%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	庭園・公園管理
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	庭園・公園管理費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

<事業の狙い>

事業計画年度

～

松本城本丸庭園、松本城公園等の管理

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 松本城本丸庭園、松本城公園清掃業務委託
松本城本丸庭園、松本城公園の環境美化、景観保持に努めた
- 松本城本丸庭園、松本城公園冬囲い業務委託
松本城の冬の風物詩となっている冬囲い及び正月しめ縄の製作を委託し、樹木の保護及び文化の伝承を図る
- 松本城本丸庭園、松本城公園樹木等総合管理業務委託
松本城本丸庭園、松本城公園の樹木、草木、芝生等を総合的に保全管理を実施
- 松本城総堀樹木診断委託
松本城総堀の老木化した桜について、樹木医の診断により延命措置を講じるための調査及び診断を実施

<現状に対する認識>

多くの市民、観光客が訪れる松本城本丸庭園、松本城公園の環境美化、景観の保持ができた。
樹木医による総堀の桜の調査、診断を実施し、適切な維持管理を進める基礎を築くことができた。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	利用率及び利用者数				
指標の設定理由	松本城の来場者の状況を測定できるため				
目標値	900,000	970,000	968,000	920,000	900,000
実績値	990,361	912,587	898,493		
達成度	110.0%	94.1%	92.8%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	21,316		24,756		24,822		26,180			
国・県										
利用者負担金										
その他	10,608		12,328		11,634					
一般財源(松本城特会)	10,708		12,428		13,188		26,180			
② 人件費(千円)	1,669	人工	1,656	人工	3,348	人工		人工		人工
正規	1,384	0.18	1,366	0.18	1,923	0.25				
嘱託	285	0.1	290	0.1	1,425	0.5				
合計コスト①+②	22,985		26,412		28,170		26,180			
前年度比	—		114.9%		106.7%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	観光宣伝
-------	------

<予算上の位置付け>

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	観光宣伝費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

松本城誘客用のパンフレット等の作成、松本城おもてなし隊の活動、国宝松本城ホームページの運用により観光客の増加に努める。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 松本城を誘客のためのパンフレット等の作成し、旅行会社等に配布
- 2 松本城おもてなし隊の活動
- 3 国宝松本城ホームページの運用・保守
- 4 松本城公園イルミネーション
- 5 松本城VR映像制作配信

<現状に対する認識>

松本城おもてなし隊、国宝松本城ホームページ等を運用することにより、松本城を基点とした回遊性創出のきっかけに努めた。また、8月から天守入場までの待ち時間をリアルタイムでホームページに掲載している。江戸時代の松本城内を3次元CGで制作し配信しているVR体験は好評で、大勢の観光客に楽しんでいただいている。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	利用率及び利用者数				
指標の設定理由	松本城の来場者の状況を測定できるため				
目標値	900,000	970,000	968,000	920,000	900,000
実績値	990,361	912,587	898,493		
達成度	110.0%	94.1%	92.8%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	19,899		37,927		21,491		21,490			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源(松本城特会)	19,899		37,927		21,491		21,490			
② 人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	2,307	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	2,307	0.3				
嘱託	0	0	0	0	0	0				
合計コスト①+②	21,437		39,445		23,798		21,490			
前年度比	—		184.0%		60.3%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	施設整備事業
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	施設整備事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

松本城天守、史跡松本城及び関連施設の適切な維持管理による、松本城の歴史的景観の維持。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 天守他塗替え委託
天守、太鼓門、黒門の漆部分の塗替え委託を実施
- 2 松本城施設の修繕、営繕工事を実施
- 3 松本城施設整備基金への積立

<現状に対する認識>

松本城施設の保全を目的に、修繕、業務委託、営繕工事を実施した。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	利用率及び利用者数				
指標の設定理由	松本城の来場者の状況を測定できるため				
目標値	900,000	970,000	968,000	920,000	900,000
実績値	990,361	912,587	898,493		
達成度	110.0%	94.1%	92.8%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	148,469		37,753		44,837		15,440			
国・県										
利用者負担金										
その他	3,373		2,329		1,882					
一般財源(松本城特会)	145,096		35,424		42,955		15,440			
② 人件費(千円)	6,338	人工	6,272	人工	9,314	人工		人工		人工
正規	5,768	0.75	5,693	0.75	8,459	1.1				
嘱託	570	0.2	579	0.2	855	0.3				
合計コスト①+②	154,807		44,025		54,151		15,440			
前年度比	—		28.4%		123.0%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	堀浄化対策事業
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	堀浄化対策

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

<事業の狙い>

事業計画年度

～

松本城の堀(内堀、外堀、総堀)の堆積物除去及び水質浄化を実施し、快適な公園環境・見学環境の維持向上を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 松本城史跡内堀等清掃業務委託
史跡内の堀の清掃を定期的実施
- 松本城堀浄化薬剤散布業務委託
堀の水質浄化と堆積物の改善のため、薬剤(酸化マグネシウム)の散布を実施
- 松本城堀総合調査業務委託
堀全体の本格的な堆積物除去(浚渫)工事及び堀の管理を適切に実施するため、事堀の堆積物、水量、水質等の調査、浚渫工法等を検討

<現状に対する認識>

堀の清掃、適正な水質管理等により堀全体の維持管理ができた
堀の適切な管理、浚渫に向けた堀の基礎的なデータを調査することができた

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	利用率及び利用者数				
指標の設定理由	松本城の来場者の状況を測定できるため				
目標値	900,000	970,000	968,000	920,000	900,000
実績値	990,361	912,587	898,493		
達成度	110.0%	94.1%	92.8%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	6,660		6,479		14,764		7,930			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源(松本城特会)	6,660		6,479		14,763		7,930			
② 人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	3,076	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	3,076	0.4				
嘱託										
合計コスト①+②	8,967		8,756		17,840		7,930			
前年度比	—		97.6%		203.7%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	松本城学びと研究事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	松本城学びと研究事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民に松本城を身近に感じていただく

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 松本城で学びの場を提供する
 - 夏休み子ども勉強会
 - 国宝松本城天守床磨き
- 展示品管理
 - 松本城に寄贈された138挺の火縄銃及び洋式銃等の清掃を行う。

<現状に対する認識>

夏休み子ども勉強会、国宝松本城天守床磨きが予定どおり実施できた。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	国宝松本城天守床磨き開催回数				
指標の設定理由	松本城の学びの場としての活用状況を把握できるため				
目標値	13	13	13	13	13
実績値	13	13	13		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	525		525		525		525			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源(松本城特会)	525		525		525		525			
② 人件費(千円)	536	人工	544	人工	482	人工		人工		人工
正規	231	0.03	228	0.03	228	0.03				
嘱託										
研究専門員	305	0.1	316.4	0.1	254.2	0.1				
合計コスト①+②	1,061		1,069		1,007		525			
前年度比	—		100.8%		94.2%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	売店管理運営
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	売店管理運営費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

松本城の関連商品を販売し、松本城の観光客思い出を持ち帰ることでリピーター及び新規観光客獲得につなげる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 売店の管理運営
- 2 商品販売業務、売上の集計、商品棚卸
- 3 売店備品購入

<現状に対する認識>

販売商品の精査、支払方法(カード決済、電子マネー等)を検討していく

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	売店売上額				
指標の設定理由	松本城売店の売上状況を測定できるため				
目標値	134,700	144,480	144,480	144,480	144,480
実績値	149,000	150,237	150,402		
達成度	110.6%	104.0%	104.1%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	103,261		100,780		99,229		97,080			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源(松本城特会)	103,261		100,780		99,229		97,080			
② 人件費(千円)	4,531	人工	4,559	人工	4,915	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,923	0.25				
嘱託	2,993	1.05	3,041	1.05	2,993	1.05				
合計コスト①+②	107,792		105,339		104,144		97,080			
前年度比	—		97.7%		98.9%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	各種行事運営
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	各種行事運営費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

松本城を背景に各種行事を行い、市民や観光客に松本城を身近に触れていただくとともに、質の高い伝統文化を提供し、文化財保護意識と集客を高める。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 松本城本丸庭園及び松本城公園を主会場とする各種行事
関係団体への委託及び負担金

<現状に対する認識>

各種行事を通じ、多くの市民や観光客に松本城をより身近に感じていただくため、主会場である本丸庭園等を無料開放し、文化財保護意識と市街地の回遊性を高めた。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	参加人数				
指標の設定理由	松本城への行事来場者数で効果が測定できるため				
目標値	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
実績値	214,610	214,072	193,123		
達成度	107.3%	107.0%	96.6%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	25,533		25,906		26,675		26,770			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源(松本城特会)	25,533		25,906		26,675		26,770			
② 人件費(千円)	8,459	人工	8,349	人工	12,080	人工		人工		人工
正規	8,459	1.1	8,349	1.1	12,080	1.6				
嘱託										
合計コスト①+②	33,992		34,255		38,755		26,770			
前年度比	—		100.8%		113.1%		—			

美術館

副館長 小口 一夫

事務事業評価票

事務事業名	美術館管理運営
-------	---------

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	美術館管理運営費

＜事業の狙い＞

事業計画年度

～

市民の芸術文化の振興を図り、文化の香り高い豊かな市民生活に資するため、美術館が目指す4つの柱（鑑賞・表現・学習・交流の場）を踏まえた管理運営を実施する。

＜事業の実施内容及び活動指標（実績値）＞

- 指定管理内容
美術館の管理運営部門について、5年間（29～34年度）の特命指定として（一財）松本市芸術文化振興財団へ委託した。
委託内容は以下のとおり
（1）施設運営に関する業務（受付・案内・監視業務、観覧料・使用料の徴収、ミュージアムショップの運営等）
（2）施設管理に関する業務（警備、施設・設備の保守維持管理、小規模修繕）
（3）経営管理業務
（4）自主事業（施設の利用促進のための事業）
- 美術館の大規模改修
平成14年の開館から15年を経過し、空調設備や照明・移動壁の交換等並びに収蔵庫の狭隘に伴う増床等が必要な時期になっており、開館20周年の前年の33年度に大規模改修の計画が必要で、30年度は基本計画策定のための調査委託を実施した。
- 顕彰事業に伴う作品購入
草間彌生顕彰事業の一環として作品52点を購入した。

＜現状に対する認識＞

貸館部門については、年々使用が増加しているなか、利用調整会議を実施し、県展規模の展覧会、周年記念事業等、慶事に伴う展覧会等を優先に、多くの団体に利用できるよう調整をする。大規模改修については、住宅課も立会いながら30、31年度の現地調査により概算工事費の査定を実施する。購入した草間作品については、31年度で他の所蔵作品とともに常設展示室を拡大し特別展示することとした。

部局名	教育部	課名	美術館	課CD	13440000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向（まちの姿）	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策（個別目標）	631	文化芸術活動の推進
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略		

＜指標の達成状況＞

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標（指標名）	ギャラリーABの稼働率（%：利用日/利用可能日数）				
指標の設定理由	市民等の成果発表の場の利用状況を測定できるため				
目標値	90.0	90.0	90		
実績値	90.2	86.7	94.0		
達成度	100.2%	96.3%	104.4%		
② 成果指標（指標名）	ミュージアムショップ売払収入（千円）				
指標の設定理由	運営の状況を直接的に測定できるため				
目標値	34,080	42,600	54,530		
実績値	48,553	61,957	56,918		
達成度	142.5%	145.4%	104.4%		

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
① 事業費(千円)	193,082	219,535	715,493	177,710				
国・県								
利用者負担金	58,513	70,707	189,816					
その他								
一般財源	134,569	148,828	525,677					
② 人件費(千円)	23,070	人工	22011	人工	22650	人工	人工	人工
正規	23,070	3	22011	2.9	22650	3		
嘱託	0		0		0			
合計コスト①+②	216,152	241,546	738,143	177,710				
前年度比	—	111.7%	305.6%	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	美術館	課CD	13440000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	美術館事業
-------	-------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
		松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	美術館事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民の芸術文化の振興を図り、文化の香り高い豊かな市民生活に資するため、美術館が目指す4つの柱(鑑賞・表現・学習・交流の場)を踏まえた事業を実施する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 展覧会事業
市制施行110周年記念・美術館開館15周年記念事業のフィナーレとして草間彌生展を開催したほか、以下企画展を実施(人数は観覧者数)。コレクション展(常設展)は、新収蔵作品おひろめ展、関四郎五郎特集展示を行い、特別企画として藤沢市藤澤浮世絵館の所蔵品展を開催した。
(1)「草間彌生展」(地元出身作家を顕彰する企画)143,453人(4月以後)
(2)「太田南海展」(地元出身作家を顕彰する企画)10,390人
(3)「第8回 老いるほど若くなる展」
(2年に1度の70歳以上を対象とした絵画の公募展)5,328人(3月末まで)
- 2 草間彌生顕彰事業
特別展開催による各種PRや常設展示ポスターを作成する等、国内外への発信に努めた。(常設展ポスター印刷部数:2,000部)
- 3 教育普及事業
美術の魅力を伝えるため、各世代を対象としたワークショップや講座を開催した。
(企画展との連動)講座数23回、参加人数444人
(ワークショップ等)実施数37回、参加人数6,197人
- 4 保存管理事業
作品の保存管理のため、修復・額装や館内環境調査を行った。
(修復・額装実績)日本画・油彩修復15点、書修復75点(保存箱含む)、額装14点

<現状に対する認識>

展覧会は、より多くの方に鑑賞いただけるようメディアとの共同開催による広報・宣伝等、開催方法について検討する。草間顕彰は、展示の充実や広報宣伝の強化により、国内外へより広くPRすると共に、市内の回遊に繋がる企画運営を行う。教育普及は、鑑賞教材の活用により、学校教育の中の美術館利用の利便性を高める。保存管理は、適切な作品保存環境の維持に努め、引き続き計画的な修復等業務を継続する。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	企画展の観覧者数(人)				
指標の設定理由	PRなど、市民等への周知が充分であるか測定できるため				
目標値	42,500	60,000	114,000		
実績値	38,248	77,386	159,171		
達成度	90.0%	129.0%	139.6%		
② 成果指標(指標名)	講座等への参加者数(人)				
指標の設定理由	時代のニーズにあう講座が開催されたか測定できるため				
目標値	780	670	626		
実績値	625	587	444		
達成度	80.1%	87.6%	70.9%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	85,157	124,971	46,393	125,280	
国・県					
利用者負担金	39,015	32,379	26,430		
その他	104	62	1,857		
一般財源	46,038	92,530	18,106		
② 人件費(千円)	48,990	47,671	53,913		
正規	46,140	44,781	50,963		
嘱託	2,850	2,890	2,950		
合計コスト①+②	134,147	172,642	100,306	125,280	
前年度比	—	128.7%	58.1%	—	

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	美術館	課CD	13440000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	アカデミア館管理運営
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
市長公約	主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	アカデミア館管理運営費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民の芸術文化の振興を図り、文化の香り高い豊かな市民生活に資するため、市民の鑑賞・表現・学習・交流の場として新たな美術を育む創造の母体となることを目指すもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 指定管理内容 アカデミア館の指定管理者が梓川ふるさと振興公社から(一財)松本市芸術文化振興財団に変わり、5年間(29～34年度)の特命指定の当初年として委託した。
2 委託内容 (1) 施設の事業に関する業務(展示、展覧会、資料の収集・保管・貸出) (2) 施設運営に関する業務(開館業務、観覧料・使用料の徴収、施設の貸出) (3) 施設管理に関する業務(警備、施設・設備の保守維持管理、清掃等) (4) 経営管理業務 (5) 自主事業(施設の利用促進のための事業)
3 展覧会等の開催 (1) 主催展覧会 梓川賞展、外池庄治展ほか5展 (2) 貸館(ギャラリー) 展示・コンサート等42件 (3) アクセスギャラリー(無料スペース)での展示15件 (4) 主催イベント ウィンターコンサート、梓弓研究会講演会、梓弓研究会12回、ワークショップ3回

<現状に対する認識>

平成29年度に指定管理者を(一財)松本市芸術文化振興財団に変更、松本市美術館と一体的な管理を進める。同じ財団が指定管理をしている、美術館、音楽文化ホール、波田文化センターとの連携を深め、アウトリーチ事業などの相互交流を深めていく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	入館者数(人)				
指標の設定理由	入館者数により魅力ある館運営が実施されているか測定できるため				
目標値	20,000	20,000	20,000		
実績値	16,672	20,752	25,595		
達成度	83.4%	103.8%	128.0%		
② 成果指標(指標名)	梓川賞展への作品応募数(点:応募数)				
指標の設定理由	市内外の美術愛好家からの注目度、関心度を測ることができるため				
目標値	100	100	100		
実績値	381	103	318		
達成度	381.0%	103.0%	318.0%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	16,546	31,721	29,883	17,790	
国・県					
利用者負担金	1,159	1,028	1,924		
その他					
一般財源	15,387	30,693	27,959		
② 人件費(千円)	0	人工 1,518	人工 1,510	人工	人工
正規	0	1,518	0.2	1,510	0.2
嘱託	0	0	0		
合計コスト①+②	16,546	33,239	31,393	17,790	
前年度比	—	200.9%	94.4%	—	

博物館

館長 木下 守

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	博物館	課CD	13450000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	まる博構想推進事業
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	まる博構想推進事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<事業の狙い>

事業計画年度

～

平成12年度に策定した松本まるごと博物館構想に基づき、博物館が市民協働や博物館連携事業を実施することにより、学びを通じた「ひとづくり」「まちづくり」を推進する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- まる博deウォーキング事業
博物館と市民学芸員の会が協働して作成した松本城下町の文化遺産を巡るウォーキングマップを使用し、一般市民を公募したウォーキングを実施。
(1) 事業名 まる博deウォーキング
(2) 実施日 平成30年11月18日(土)・平成31年3月16日(土)
(3) 参加者 各15名
- 松本藩領ミュージアム事業
平成26年度から実施している中信地区を対象範囲とする広域連携事業として、講演会を開催。
(1) 事業名 松本藩領ミュージアム講演会
(2) 内容 「貞享騒動の見かた、見られかた」 逸見大悟氏(安曇野市教育委員会教育部文化課)、清水祥二氏(安曇野市貞享義民記念館館長)
(3) 実施日 平成30年3月11日(日)
(4) 参加者 59名
- 市民学芸員養成講座事業
博物館とともに地域の文化財に対する学習・調査や、博物館の普及公開活動を行う人材を育成するための講座。
(1) 事業名 市民学芸員養成講座
(2) 実施期間 平成30年5月～平成31年3月(全9回)
(3) 修了者 12名

<現状に対する認識>

市民が気軽に参加したり、市域の文化資産を身近に感じられるような学習支援事業を計画し、市民の学習要望に応じていく。また、市民の学びの意欲に応えるため、市民学芸員活動を中心に引き続き市民協働事業を推進していく。今後、他博物館との積極的な連携活動も検討する。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	観覧者数(分館13館)				
指標の設定理由	博物館事業に対する市民の関心を具体的に測定できるため				
目標値	230,000	231,250	232,500	233,750	235,000
実績値	227,769	251,748	231,409		
達成度	99.0%	108.9%	99.5%	0.0%	
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	305		1,911		180		580			
国・県										
利用者負担金										
その他			558							
一般財源	305		1,353		180		580			
② 人件費(千円)	11,992	人工	11,894	人工	11,992	人工		人工		人工
正規	9,997	1.3	9,867	1.3	9,997	1.3				
嘱託	1,995	0.7	2,027	0.7	1,995	0.7				
合計コスト①+②	12,297		13,805		12,172		580			
前年度比	—		112.3%		88.2%		—			

事務事業評価票

事務事業名	松本市基幹博物館整備事業
-------	--------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	基幹博物館整備事業

部局名	教育部	課名	博物館	課CD	13450000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	市長公約	主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備	
—	—	—	—	松本版総合戦略		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H28～R5
<p>松本城の史跡内に位置し、開館から50年以上が経過した現博物館を、城下町の再生を進めるうえで極めて重要なエリアとなる松本城三の丸地区の市営松本城大手門駐車場等敷地に、松本まるごと博物館の中核施設(基幹博物館)として移転新築するもの。</p>		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
<p>1 建築及び展示の設計 昨年度に引き続き建築及び展示の設計を進めてきたが、敷地が拡張されたため基本設計の見直しを行い、7/25～8/28にパブリックコメントを実施した。また、実施設計については、避難安全検証法の大匠認定取得や、地下埋設物解体の設計追加等が必要となったため、令和元年7月まで工期延長した。</p> <p>2 建設予定地の確保 松本城大手門駐車場の既存施設を解体するとともに、平面部分については、代替地の確保ができるまでの間、賃貸借を継続することとした。また、拡張した敷地については、取得に向けて土地売買契約及び物件補償契約を締結した。</p> <p>3 各種調査の実施 地歴調査、地下水影響調査及び合併5地区の資料調査を行った。</p> <p>4 その他 博物館ロゴマーク等の開発業務を行った。</p>

＜現状に対する認識＞
<p>基本設計の見直しや実施設計の工期延長等があったものの、開館に向け概ね順調に進んでいる。 建設予定地の既存建物が解体され、いよいよ目に見える形で基幹博物館建設に向け一歩を踏み出した。来年度は、埋蔵文化財発掘調査を実施するとともに実施設計を完了させ、建築工事の発注に向け準備を進める。 今後も、令和5年度の開館に向け着実に事業を進めていきたい。</p>

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	松本市立博物館本館の共通券(博物館販売分)+単独券販売枚数				
指標の設定理由	開館は35年度予定のため、現博物館の観覧券販売数を基に目標値を設定				
目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
実績値	16,943	18,537	16,700		
達成度	84.7%	92.7%	83.5%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞										
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	9,580	188,215	378,610	140,280						
国・県	0		69,220	65,230						
利用者負担金	0									
その他	0	110,000	302,120	57,250						
一般財源	9,580	78,215	7,270	17,800						
② 人件費(千円)	13,390	人工	28,550	人工	43,650	人工		人工		人工
正規	7,690	1	22,770	3	37,750	5				
嘱託	5,700	2	5,780	2	5,900	2				
合計コスト①+②	22,970		216,765		422,260		184,430			
前年度比	—		943.7%		194.8%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	博物館	課CD	13450000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	博物館特別展開催事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	博物館特別展開催事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

平成12年度に策定した松本まるごと博物館構想に基づいて、特別展を開催することにより、市民に学習機会を提供するとともに、郷土の歴史や文化資産の保護に対する市民の関心を高めて「ひとづくり」「まちづくり」に貢献するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

市立博物館(本館)で、以下の3展覧会を開催。

- 特別展「城下町 松本のにぎわい 一町人地における人々の暮らし」
 - 会期 平成30年7月28日～9月30日
 - 内容
本町絵図面などの所蔵資料や、東町跡などの発掘調査の成果を通し、松本城下町で生活する町人の暮らしを紹介する展示
 - 入館者数 48,244人
- 特別展「信濃の国と浅井冽」
 - 会期 平成30年10月13日(土)～11月25日(日)
 - 内容
県歌「信濃の国」が制定50周年を迎えることを記念して浅井冽や信濃の国に関する資料を展示
 - 入館者数 20,710人
- 特別展「小笠原家弓馬故実書公開・新収蔵展」
 - 会期 平成30年12月8日～平成31年2月17日
 - 内容
中世から近世にかけて、信濃守護として松本にゆかりも深い小笠原氏の弓馬故実に関わる新資料を、小笠原家の歴史や松本との関わりを踏まえながら紹介する展示
 - 入館者数 15,910人

<現状に対する認識>

現状で目標値を達成している。今後は令和5年度(2023年度)開館予定の基幹博物館移転に向けた博物館資料の整理・登録業務を活かし、市民の多様な学習ニーズにこたえられる特別展を開催する。また、基幹博物館開館時及び開館後数年の特別展事業内容を検討していく必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	特別展期間中観覧者(人)				
指標の設定理由	博物館事業に対する市民の関心を具体的に測定できるため				
目標値	30,000	30,000	30,000	30,000	
実績値	42,534	133,295	63,883		
達成度	141.8%	444.3%	212.9%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	4,720		6,519		2,370		1,880			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,720		6,519		2,370		1,880			
② 人件費(千円)	12,761	人工	12,833	人工	12,960	人工		人工		人工
正規	10,766	1.4	11,385	1.5	11,535	1.5				
嘱託	1,995	0.7	1,448	0.5	1,425	0.5				
合計コスト①+②	17,481		19,352		15,330		1,880			
前年度比	—		110.7%		79.2%		—			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	博物館	課CD	13450000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	博物館事業
-------	-------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	博物館事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民の歴史・文化資産に対する理解を深めるため、松本市立博物館本館と分館15館で資料の収集・保管、調査研究、展示、講座・講演会等を実施するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 博物館資料の収集・保管業務
 - 収蔵資料・図書の資料整理・登録(全館)
 - 各館収蔵資料、寄贈資料を博物館資料管理システムに登録するもの
 - 各館所蔵図書、新規寄贈・交換図書を同上システムに登録するもの
 - 保存処理業務

掛軸・書籍の修復、旧式テープの保存処理 等
- 常設展、特別展・企画展の実施
 - 本館

チェコの城や県歌『信濃の国』をテーマとした特別展と、松本城下町がテーマの特別展を開催
 - 分館

各施設の特徴を活かした特別展・企画展を開催
- 講座・講演会の実施
 - 本館

第9回 復活 話をさく会 年1回(参加者58名)
松本藩領ミュージアム 年1回(参加者58名)
 - 分館

考古博物館のあがたの森考古学ゼミナール、歴史の里のはた織り体験講座など、9分館で各施設の特徴を活かした講座・講演会を開催
- 各種印刷物の刊行
 - 館ニュース「あなたと博物館」(年6回発行) 各5,000部
 - 『松本の子どもの短歌 2018』 発行6,800部 など

<現状に対する認識>

松本まるごと博物館として、本館・分館で多様な市民ニーズに答える展覧会・講座・講演会を今後も実施する。また、令和5年の基幹博物館開館に向け、新博物館での資料の利活用推進のため、未登録資料の解消が急務である。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	観覧者数(分館15館)				
指標の設定理由	博物館事業に対する市民の関心を具体的に測定できるため				
目標値	230,000	231,250	232,500	233,750	235,000
実績値	227,769	251,748	231,409		
達成度	99.0%	108.9%	99.5%		
② 成果指標(指標名)	資料・図書登録				
指標の設定理由	博物館資料の収集・保存の活動状況を測定できるため				
目標値	52%	53%	54%	55%	65%
実績値	29%	32%	37%		
達成度	55.8%	60.4%	68.5%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	34,464		33,473		40,550		41,390			
国・県							700			
利用者負担金										
その他										
一般財源	34,464		33,473		40,550		40,690			
② 人件費(千円)	63,272	人工	63,105	人工	63,272	人工		人工		人工
正規	40,757	5.3	40,227	5.3	40,757	5.3				
嘱託	22,515	7.9	22,878	7.9	22,515	7.9				
合計コスト①+②	97,736		96,578		103,822		41,390			
前年度比	—		98.8%		107.5%		—			